令和 4年度 第1号補正予算 主要な事業の説明書

(一般会計)

令和4年 第1回 嬉野市議会定例会提出

令和4年度 第1号補正予算 主要な事業の説明書 目次

様式1 (1) 一般会計

総務・防災課	1	~	2
	3	~	12
	13	~	14
	15	~	16
	17	~	18
	19	~	21
	22	~	28
農業政策課	29	~	34
	35	~	47
	48	~	51
建設課	52	~	56
新幹線・まちづくり課	57	~	59
	60	~	61
教育総務課/学校教育課(教育委員会事務局)	62	~	68

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 9 消防費 項 1 消防費 目 3 消防施設費 事業名 消防施設整備事業													
総	総合計画による位置づけ 基本方針 助け合う安全・安心のまちづくり							政	策分野	①消防・四	坊災		
	実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務·防災課	予算	老へ 一 1/	27	新規		継続	0

4. 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

消防施設を整備改修することにより、火災、水害への備えを充実し、消防団による消火活動の充実を目指す。

2. 事業内容

有蓋防火水槽設置、消火栓設置・改修、救命ボート配備、小型動力ポンプ更新。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	98,054
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		防積載車・ポンプ	防火水槽整備、消 防積載車・ポンプ 更新、消火栓整備	防積載車・ポンプ	防火水槽整備、消 防積載車・ポンプ 更新、消火栓整備
事	業費(単位:千円)	補助率	22,696	21,837	19,735	33,786
	国庫支出金	1/3				330
財	県支出金					
源	市債	100%	20,800	20,100	16,800	27,100
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					·
	一般財源		1,896	1,737	2,935	6,356

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 1,400千円 1号追加補正事業費 32,386千円 (補正財源內訳) 国庫支出金 330千円 市債 27,100千円 一般財源 4,956千円

補正後事業費 33,786千円

	() 4 F) (* // // //	
<u>'</u>	内	容	補助	単独
工事請負費	【今回追加補正】	防火水槽 2基(下吉田、下岩屋)		18,000
備品購入費	【今回追加補正】	消防小型動力ポンプ 4台(1-4.2-4.4-2.7-6)		9,196
	【今回追加補正】	災害用救命ゴムボート一式 3艇	990	
負担金,補助及び交付金	消火栓新設1基	(水道企業団へ)		1,400
	【今回追加補正】	改修3基(水道企業団へ)		4,200
·				
			990	32,796

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 9 消防費 項 1 消防費 目					目 5 🦠	災害対策費	事業名	災害ネット	システム	導入			
総合計画による位置づけ 基本方針 助け合う安全・安心のまちづくり 政策分野 ①消防・防災													
実施主体		†	所属部	行政経営部	所属課	総務·防災課	予算	書ページ	27	新規	\circ	継続	

1. 事業の目的・効果

インターネットを利用した災害情報のシステムを導入し、避難所情報、被災箇所等の情報を各々入力し、一元的に管理することで、膨大な情報の共有化を図り、取りまとめや資料作成を容易に行うことができる。

2. 事業内容

インターネットアプリを使用したシステムの構築と、システムによる災害情報の管理、利活用を図る。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	\sim	令和	4	年度	事業費(千円)	2,365
	実施年度		令和元	年度	令	和2年	度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容									災害ネットシス テム導入
事	業費(単位:千円)	補助率								2,365
	国庫支出金									
財	県支出金									
源	市債									
内	ふるさと応援寄附金									
訳	その他									
	一般財源									2,365

4. 本年度の事業	費内訳	予算額(単位:千	·円)
	内容	補助 単	
委託料	災害ネットシステム導入		1,045
使用料及び賃借料	災害ネットサービス使用料		1,320
	計		2,365

5. その他参考となる事項

※災害ネットシステムは、収集した情報を時系列で記録する手法「クロノロジー」をシステム化し、情報共有、記録、管理を時系列で集約することで、とりまとめのしやすいものを想定している。

・システム導入費用 1,045,000円

・サービス使用料 100,000円×12月×1.1=1,320,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 6 企画費 事業名 移住促						進事業					
総合計画による位置づけ 基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり 政策分野 ③住まい											
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書ペー	ジ 13	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

移住促進による人口増加を目的とし、活気と歓声に満ちた地域社会の構築へ繋げていく。

2. 事業内容

東京、大阪、福岡やオンラインで開催される移住促進フェアに出展する。また、空き家バンク利用・リモートワーク移住・農業ターンの移住者に対し、条件により記念品を贈呈する。

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	4,397
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		移住フェアへの 出展		移住者への記 念品贈呈、移住 フェアへの出展	
事	業費(単位:千円)	補助率	320	619	1,368	2,090
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		320	619	1,368	2,090

5. その他参考となる事項

- ・県外からの移住者で空き家バンクを利用して転入した者に、シーボルトの湯年間パスポート3年分、嬉野産米1俵、肥前吉田焼、嬉野茶を送る。
- ・県外の事業所に所属したまま、嬉野市に転入しリモートワークする者に湯遊嬉野チケットを送る。
- ・市外よりの転入者で農業ターン応援金に該当する者に、シーボルトの湯年間パスポート1年分を送る。
- ・旅費:東京・大阪・福岡での移住フェア参加時旅費。(政策的予算により今回追加補正)
- ・委託料:移住フェア時のPRグッズ作成委託料。(政策的予算により今回追加補正)
- ・使用料および賃借料:移住フェア時の出展料。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費	1,535千円
補正事業費	555千円
(補正財源内訳) 一般財源	555千円
補正後事業費	2,090千円

通旅費東京、大阪、福【今回追加補託料移住フェアで仕【今回追加補E用料および賃借料移住フェアの比	ヺしか /		1 77 15(-	= 亚· 1 <i>)</i>		
	内	容	補助	単独		
報償費	移住者への記念は	品贈呈		1,406		
普通旅費	東京、大阪、福岡	での移住フェア時の旅費		127		
	【今回追加補正	】127,000円		127		
委託料	移住フェアで仕様	する移住促進グッズの作成委託料		1		
	【今回追加補正	】99,000円		99		
使用料および賃借料	移住フェアの出展	料		1		
	【今回追加補正	】329,000円		329		
	<u>.</u>	+		2,090		
	·		•			

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 2 総務費 項 1 総務管理費 目 6 企画費						事業名	総合計画					
総合計画による位置づけ 基本方針 みんなで創る自発のまちづくり 政策分野							策分野	④行政計	-画			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算	書ページ	13	新規		継続	\circ

4. 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

第2次嬉野市総合計画後期計画を策定し、冊子を作成することで政策の浸透を図り、活気と歓声に満ちた地域社会の構築へ繋げていく。

2. 事業内容

第2次嬉野市総合計画後期計画を策定する。また冊子制作をデザインを含め作成委託し、関係各所に配布する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度		年度 事業費(千円)	4,235
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		委員報酬等	委員報酬等	委員報酬等、後 期計画策定支 援	委員報酬等、計画書作成
事	業費(単位:千円)	補助率	18	23	1,946	2,248
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		18	23	1,946	2,248

5. その他参考となる事項

第2次嬉野市総合計画後期計画書については、6月議会で承認後、冊子のデザインを含め印刷・製本業務を委託し、関係各所に配布する。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費 248千円 補正事業費 2,000千円 (補正財源內訳) 一般財源 2,000千円

補正後事業費 2,248千円

	1.3	1111-27	十分は
報酬	総合計画審議委員報酬 5,700円×10人×4回		228
旅費	総合計画審議委員旅費(費用弁償) 5,000円×4回		20
	【今回追加補正】 2,000,000円		
委託料	総合計画書作成·印刷·製本業務委託		2,000
	計		2,248

予算額(単位:千円)

単独

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

	款 2 総務9	費	項 1 約	総務管理費	目 6 分	上画費	事	業名 移住	促進応捷	爰事業			
総合計画によ	る位置づけ	基本方	針 自然と記	調和、快適住生	活のまちづく	り			政策分	分野	③住まい		
実施主体		巿	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書ペ	ージ	13	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

移住促進による人口増加を目的とし、活気と歓声に満ちた地域社会の構築へ繋げていく。

2. 事業内容

移住促進応援金の交付を行う。①18歳未満の子がいる世帯の転入時の引っ越し費用を対象に応援金を交付する。②18歳未満の子がいる世帯の転入時に応援金を交付する。③市内に居住したことが なく、市内に祖父母を有する孫の転入時に応援金を交付する。④市内に妻の父母がおり、市内に居住したことがなく結婚5年以内の夫が転入した場合に応援金を交付する。⑤市内に居住したことがな い50歳未満の単身女性が転入した場合に応援金を交付する。⑥3年以上市外に居住する者が転入から2年以内に起業した場合に応援金を交付する。⑦3年以上市外に居住し市内に住宅を有しない 者が転入から1年以内に住宅を取得した場合に応援金を交付する。⑧県外の事業所に勤務している者が、その事業所に所属したまま移住を目的として転入しリモートワークを行う場合に応援金を交付 する。⑨就農の為、転入した場合に応援金を交付する。

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	令和 2 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	91,551
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容			移住促進応援 金	移住促進応援 金	移住促進応援 金
事	業費(単位:千円)	補助率		22,771	35,000	33,780
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			20,000	30,000	32,000
訳	その他					
	一般財源			2,771	5,000	1,780

14年度		内
是進応援	負担金、補助及び交付金	移住促進応援金
		【今回追加補正
33,780		
32,000		
1,780		

その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費 15,840千円 補正事業費 17.940千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄付金 17,000千円 940千円 一般財源 33,780千円 補正後事業費

	計	33,780

容

【今回追加補正】17,940,000円

予算額(単位:千円)

単独

15,840

17.940

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 6 分	企画費	事	業名 空き	家バ	ノク利用の	足進事業		
総合計画による信	立置づけ 基本	方針 自然と	調和、快適住生	活のまちづく	[b			政	策分野	③住まい		
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書へ	ページ	13	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

空き家バンク利用に対し補助金を交付することで、空き家の流通の促進を図り、転入者増や空き家そのものの利用により地域を活性化させることを目的とする。

2. 事業内容

空き家バンクの利用に対し補助金を交付する。①転入者利用の契約物件のリフォーム補助。②転入者利用の契約物件のDIYに対する補助。③登録物件にある不要物撤去費用の補助。④登録物件にある仏壇撤去費用の補助。⑤転入者利用の契約物件のハウスクリーニング費用の補助。⑥空き家バンクに登録する物件を紹介いただいた場合の奨励金。⑦空き家バンクに登録いただいた場合の奨励金。⑧築20年以内で改修の必要の低い物件を登録いただいた場合の奨励金。⑨昭和56年6月以降建築、もしくは耐震基準を満たす物件で月額3万円以下の貸家として登録いただいた場合の補助。⑩転入者利用の契約物件の仲介手数料の補助。

4. 本年度の事業費内訳

負担金、補助及び交付金 空き家バンク利用促進補助金

【今回追加補正】1,110,000円

3.	全体計画	事業期間	令和 2	年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	6,660
	実施年度	-	令和元	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				空き家バンク利 用促進補助金	空き家バンク利 用促進補助金	空き家バンク利 用促進補助金
事	業費(単位:千円)	補助率			2,220	2,220	2,220
	国庫支出金						
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源				2,220	2,220	2,220

5	その他参考とかろ事項	

※補助概要等については当初予算と同じ。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費 1,110千円 補正事業費 1,110千円 (補正財源内訳) 1,110千円 相正後事業費 2,220千円

)		
1		
1		
1		
)		
1		
1		
I	計	2,220

予算額(単位:千円)

単独

1,110

1.110

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 2	2 総務費	ŧ	項 1 約	総務管理費	目 6 1	è画費	=	事業名 地域	はおこし	」協力隊・	お試し移	住・お試し	ナテライトス	ナフィス
総合計画による位置づけ 基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり 政策分野 ③住まい															
実施主体	本	Ħ	Ħ	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書ペ	ージ	13	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

嬉野市での暮らしの情報や暮らしの体験を通して、実感を持ってもらうことで移住に対するハードルを下げ、移住者の増加を図ることを目的とする。

2. 事業内容

地域おこし協力隊により、外部からの視点を取り入れた移住者目線での移住施策(お試し移住施設、お試しサテライトオフィス、移住全般)を推進し、移住や2拠点居住・サテライトオフィスの設置などを考えている方向けに、嬉野市での暮らしの情報提供や暮らしの体験の提供を行う。

4 木圧度の重業費内記

3.	全体計画	事業期間	令和 2	年度	\sim	令和 4	年度 事業費(千円)	15,693
	実施年度		令和元	二年度	令	和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				地域。隊募	おこし協力 集	協力隊雇用、お試し施設運営	協力隊雇用、お 試し施設運営
事	業費(単位:千円)	補助率				1,648	7,501	6,544
	国庫支出金							
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他							
	一般財源					1,648	7,501	6,544

4. 平中及り尹未負	I PION	∫ 异似(-	半位:十円/
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	補助	単独
報酬	隊員報酬		2,701
職員手当	隊員期末·移転·住宅手当		997
共済費	隊員社会保険等		629
旅費	隊員活動旅費		449
需用費、備品購入費	消耗品(インク、紙等)、隊員用車両燃料		150
役務費	データ通信費、車両共済費		74
委託料	隊員フォロー委託		600
使用料および賃借料	隊員用車賃借料、施設賃借費		584
負担金、補助及び交付金	隊員研修時負担金、お試しサテライトオフィス利用企業旅費補助		230
	【今回追加補正】130,000円		130

予質類(単位・壬四)

6,544

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ。(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費6,414千円補正事業費130千円(補正財源内訳)-般財源130千円補正後事業費6,544千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 6 1	目 6 企画費 事業名 地方創生移住支援金						
総合計画による	位置づけ 基本	方針 自然と	調和、快適住生	活のまちづく	(b			政策分野	③住まい		
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書ペー	-ジ 13	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

移住支援金の支給により移住を促進し、人口増による活気と歓声に満ちた地域社会を築くことを目的とする。

2. 事業内容

国の地方創生施策である移住支援金事業に加え、佐賀県の独自拡充メニューである「さが暮らし支援事業」により移住支援金を支給する。

3.	全体計画	事業期間	令和	2 年度	~	令和	4	年度	事業費(千円)		6,900
	実施年度		令和	元年度	令	和2年	度		和3年度		4年度
	事業内容				地方支援	創生移 金	住	地方領支援金	創生移住 金	地方創生 支援金	上移住
事	業費(単位:千円)	補助率				1,	000		1,000		4,900
	国庫支出金										
財	県支出金						750		750		3,675
源	市債										
内	ふるさと応援寄附金										
訳	その他										
	一般財源						250		250		1,225

5. その他参考となる事項

- ・東京23区勤務で一定期間以上東京圏に住んでいる者が、人手不足企業への就職やテレワーク等で移住した場合支援金を支給する。
- ・国の政策拡充により子ども1人につき30万円が加算される。

300千円×3人=900千円(政策的予算により今回追加補正)

・県の政策拡充により他県からの、人手不足企業への就職・農林水産業・事業承継・スポーツ振興・ 空き家活用・伝統工芸継承での移住において単身60万円世帯100万円を支給する。

1,000千円×3世帯=3,000千円(政策的予算により今回追加補正)

当初予算事業費	1,000千円
補正事業費	3,900千円
(補正財源内訳) 県支出金	2,925千円
一般財源	975千円
補正後事業費	4,900千円

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円		
内	容	補助	単独	
負担金、補助及び交付金 地方創生移住支援金		1,000		
【今回追加補正】3,	900,000円	3,900		
i 計		4,900		

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 2 総務	費	項 1 約	総務管理費	目 9 均	也域振興事業費	事	事業名 ひとにやさしいまちづくり					
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり							政策分野	④観光業					
実施主体		市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書ペー	ジ 13	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

5. その他参考となる事項

ユニバーサルデザインおよびバリアフリーを基本の考えとする「人にやさしいまち宣言」の趣旨に基づき、市民や市を訪れるすべての人が安全・安心に社会生活や観光を楽し むことができる「ひとにやさしいまち」を目指して市民、事業者、行政が協力・連携しながらハード・ソフト両面の整備に取り組む。

4 木圧度の重業費内記

2. 事業内容

①ひとにやさしいまちづくり各種事業の推進

②バリアフリーツアーセンターが実施するバリアの調査・分析・情報提供・相談業務・イベント実施への活動支援

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	21,390
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		ユニバーサルデ ザイン等関連各 種事業の実施	ユニバーサルデ ザイン等関連各 種事業の実施	ユニバーサルデ ザイン等関連各 種事業の実施	ユニバーサルデ ザイン等関連各 種事業の実施
事	業費(単位:千円)	補助率	3,300	6,077	6,027	5,986
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			5,500	5,500	5,200
訳	その他				·	·
	一般財源		3,300	577	527	786

111.1首	i I				i I
ふるさと応援寄附金		5,500	5,500	5,200	
その他					i l
一般財源	3,300	577	527	786	
	_				
その他参考となる事項					. L
					i L
					i L
当初予算事業費		2,677千円			
補正事業費		3,309千円			
(補正財源内訳) ふるさと応	援寄付金	4,000千円			
一般財源	Ĩ.	-691千円			
補正後事業費		5,986千円			

<u>4. 半円及の事果</u> 類	(アリア)		J 弁 (収()	<u> </u>
	内	容	補助	単独
報酬	ひとにやさしいまちづくり推	進協議会委員報酬(委員11人のうち民間委員7人の1回分)		40
旅費	先進地視察·担当	省庁協議【移動円滑化事業事前調査】		9
役務費	電動車いす保険料			27
委託料	第2次UDおもてな	:し体制整備事業 1千円		1
		3,309,000円		3,309
負担金、補助金及び交付金	バリアフリーツアー	-センター運営費補助金		2,600
	<u> </u>			
	1111	†		5,986

予質類(畄位:壬四)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	2 総務費	ŧ	項 1 絲	総務管理費	目 9 均	地域振興事業費	事	業名 結婚支	て援推進			
総合計画による位置づけ 基本方針 みんなで創る自発のまちづくり 政策分野 ②男女共同参画													
実施主体	体	र्न		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課		予算書ペー	-ジ 13	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

全国的に年々未婚率が増加し、晩婚化の傾向が顕著であることが社会問題となっている中、結婚を希望する独身男女に交際のきっかけとなる出会いの場を提供することにより 人生の良きパートナーにめぐり会い、結婚してもらうことで未婚率の減少や晩婚化の抑制などの少子化対策に繋がり、将来的には地域がより活性化していくことを目指す。ま た、経済的理由で結婚に踏みきれない独身者の結婚実現のため、結婚新生活を支援する。

2. 事業内容

結婚を希望する独身男女の支援をするため、男女の出会いの場としてのイベントや、講師によるコミュニケーション能力アップ・身だしなみ等、自分を磨くセミナーを開催する。 また、結婚の手助けをする相談員・サポーターに対し研修を実施する。さらに、結婚に伴う経済的負担を軽減し、結婚しやすい環境づくりを推進するため、新規に婚姻した低 所得者の新婚世帯に対し、住宅取得費用、住宅賃借費用、引越費用の一部を助成する。

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	18,025
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			結婚支援推進	結婚支援推進	結婚支援推進	結婚支援推進
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率	2,883	5,915	6,104	3,123
	国庫支出金					
財	県支出金	1/2	265	1,800	1,500	750
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			2,500	1,800	1,000
訳	その他					
	一般財源		2,618	1,615	2,804	1,373

	, 4	1111-57	1 324
報償費	結婚支援相談員1人 154千円 結婚支援サポーター7人 252千円		406
旅費	普通旅費(職員1人) 1,700円×1.3×1人×1回=2,210円		6
	費用弁償(相談員1人) 1,700円×1.3×1人×1回=2,210円		
需用費	消耗品費(事務用品)		5
役務費	傷害保険料(相談員1人・サポーター7人) 5,840円		6
委託料	結婚支援推進事業 1,000円		1
	【今回追加補正】 1,199,000円		1,199
負担金、補助及び交付金	注 (補助金)結婚新生活支援事業 750千円	750	
	【今回追加補正】 750,000円	750	
	<u>:</u>	1.500	1.623

容

予算額(単位:千円)

補助 単独

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 1,174千円 補正事業費 1,949千円 (補正財源内訳) 県支出金 375千円 ふるさと応援寄付金 1,000千円 一般財源 574千円

補正後事業費 3,123千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	系款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 10	男女共同参画事業費	事業名	男女共同]参画事業				
総合計画	町による位	置づけ 基本力	針 みんな	で創る自発のま	きちづくり			政	策分野	②男女共	:同参画		
実施	主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算	喜さページ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	14	新規		継続	0

4. 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

誰もが互いにその人権を尊重しながら責任も分かち合い、性別等に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指す。

2. 事業内容

第3次嬉野市男女共同参画行動計画(2018~2022)に基づき各種事業及び啓発活動を実施するとともに、その実施状況について検証する。 令和4年度は、第4次行動計画(2023~2027)の策定に向けて、審議会等に諮り、計画を策定する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元	年度	~ 令和	4	年度	事業費(千円)	11,72	29
	実施年度		令和元	年度	令和2年	度	令和	73年度	令和4年度	
	事業内容		男女共同 事業	参画	男女共同参 事業	画	男女 事業	共同参画	男女共同参画 事業	
事	業費(単位:千円)	補助率		5,243		187		2,422	3,87	17
	国庫支出金									
財	県支出金									
源	市債									
内	ふるさと応援寄附金								2,50)0
訳	その他									
	一般財源			5,243		187		2,422	1,37	17

5. その他参考となる事項		
当初予算事業費 補正事業費	877千円 3,000千円	

(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金2,500千円一般財源500千円

補正後事業費 3,877千円

11/11/20/7/				T 12. 1 17/
	内	容	補助	単独
報酬	男女共同参画審	議会委員(委員15人×5,700円×6回)		513
需用費	消耗品費(事務)			10
役務費	通信運搬費(審認	義会委員通知 120円×15人×12回)		22
委託料	男女共同参画啓	発事業		332
	男女共同参画行	動計画書作成委託		
	【今回追加補正】	3,000,000円		3,000
	=	+		2 077
	Ī	i i		3,877

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 14	コミュニティセンター費	事業名 コミ	ュニティ	センター	-運営費_			
総合計画による位	置づけ 基本方	針 みんな	で創る自発のま	きづくり			政策	分野	③住民自	治·住民参	多画	
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	予算書^	ページ	14	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

地域の子どもからお年寄りまで世代間の交流を促進する場を提供するとともに、文芸・絵画などの作品等を展示することにより、地域コミュニティの活性化と地域福祉の増進に寄与する。建設後17年が経過し、老朽化が進み、職員の対応頻度などの状況を踏まえ、今年度より指定管理制度の導入により、効果的・効率的な施設管理を実施し、市民サービスの向上と経費削減を図る。

2. 事業内容

- ・嬉野市コミュニティーセンター(楠風館)の運営、施設管理
- ・芸術、文化、スポーツ、学習、健康づくり等、幅広い交流・研修の場の提供。
- ・文芸、絵画などの作品等展示。
- ・指定管理による自主事業の実施により、愛着を持って運営することによりこれまで以上の利用者を呼び込み市民全員が親しみを持って利用できる施設にする。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	72,003	4. 本年度の事	業費内訳		予算額(単位:千円)
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		内	容	補助	単独
				コミュニティセン	コミュニティセン	コミュニティセン	需用費	修繕料900千円			900
	事業内容		ター運営管理	ター運営管理	ター運営管理	ター運営管理	役務費	保険料135千円			135
							委託料	指定管理委託料	11,500千円		12,059
事	業費(単位:千円)	補助率	18,599	14,923	23,687	14,794		建築基準点検	559千円		
	国庫支出金						工事請負費	給湯器取替工事			
財	県支出金							【今回追加補正】	1,600,000円		1,600
源	市債						備品購入費	テレビ購入			100
内	ふるさと応援寄附金			2,000	10,000	1,000					
訳	その他(地域づくり基金)		2,532	2,550	2,532	10,016					
	一般財源		16,067	10,373	11,155	3,778					
			_								
5.	その他参考となる	る事項									
	当初予算事業費			13,194千円							
	補正事業費			1,600千円							
	(補正財源内訳)	ふるさと応	援寄付金	1,000千円							
		一般財源	Ī	600千円							
					•						
	補正後事業費			14,794千円	•						
								· 計	-		14,794

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

	予算体系 款	2 総務費	专	項 1 約	総務管理費	目 7 公	企業誘致費	事	事業名 1	企業誘致	奨励金			
糸	総合計画による位	位置づけ	基本方	針 進化と	創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政	策分野	③商工業		
	実施主体	市	→	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		予算	書ページ	13	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

企業を誘致し、市内に事業所を立地することを奨励して産業の振興、雇用の増大及び定住の促進を図ることを目的とする。

2. 事業内容

奨励措置の内容(嬉野市企業等誘致条例第3条)

- (1)固定資産税の課税免除(2)立地奨励金の交付(3)雇用奨励金の交付(4)用地取得奨励金の交付(5)上水道使用奨励金の交付(6)設備費補助金の交付
- (7)研修費補助金の交付(8)建物賃料補助金の交付

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	60,261
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			奨励金の交付	奨励金の交付	奨励金の交付	奨励金の交付
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率	7,522	4,712	12,360	35,667
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金				10,000	34,000
訳	その他					
	一般財源		7,522	4,712	2,360	1,667

:	<i>i</i> L			
		34,000	10,000	
		1,667	2,360	4,712
				,834千円
				,833千円
				,834千円 ,833千円 ,000千円 833千円
				833千円

4. 本年度の事業費内訳

負担金、補助及び交付金 (奨励金交付対象企業 4企業)

予算額(単位:千円)

単独

17,834

17,833

35,667

補助

容

立地奨励金、雇用奨励金、設備費補助金、研修費補助金、建物賃料補助金

【今回追加補正】4企業 17,833,000円

当初予算事業費 17,834千 3月補正事業費 17,833千 (建工出版中記) (22) (22) (23)

5. その他参考となる事項

(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金 17,000千円 一般財源 833千円

補正後事業費 35,667千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 16	広報広聴費	事業	業名 シティプ	゚ロモーショ	ン事業			
総合計画による	位置づけ 基本方	針 みんな	で創る自発のま	きちづくり			Į	效策分野	④行政計	-画		
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報·広聴課		予算書ページ	14	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

嬉野市の魅力ある地域資源を効果的、かつ最新のトレンドを意識したプロモーションとして発信することにより、嬉野市の知名度を向上させ、観光客や移住者、企業進出などの 交流人口増加及び市内経済の活性化を図る。

4 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

シティプロモーション事業の円滑な実施

事業は、トレンドに即した効果的な媒体や手法等を選択し実施する。

・TV番組や人気雑誌等への嬉野市の露出・協定を締結した企業等との連携によるプロモーション・著名人が出場・出演するイベント等の誘致、実施

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	34,145
	実施年度	-	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		シティプロモー ション事業	シティプロモー ション事業	シティプロモー ション事業	シティプロモー ション事業
事	業費(単位:千円)	補助率	2,995	5,060	14,720	11,370
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金				9,800	9,000
訳	その他					
	一般財源		2,995	5,060	4,920	2,370

9,000	
2,370	
_	

当初予算事業費	6,870千円
3月補正事業費	4,500千円
(補正財源内訳) ふるさと応援寄付金	3,000千円

5. その他参考となる事項

一般財源 1,500千円

補正後事業費 11,370千円

4. 半牛及の手来負			単位:下門)
	内 容	補助	単独
	普通旅費 イベント実施や打ち合わせ等		415
	イベント協力者等への手土産		45
	消耗品 各種事務用品		50
	広告料 TVや雑誌掲載など		1,850
	連携企業とのコラボ事業など		4,500
	【今回補正】		4,500
賃借料	駐車場使用料等		10
·			
	計		11,370

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 10 教育費 項 5					R健体育費	目 1 化	呆健体育総務費	事業名	夢スポー	ツ支援事	業		
総合計画による位置づけ 基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり 政策分野 ④スポーツ													
	実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	予算	算書ページ	32	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

市民が「する」「みる」「さざえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、それぞれの人生を生き生きとしたものとするとともに、スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現や経済・地域の活性化など、スポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことを目的とする。また、市民の成熟した文化としてスポーツを一層根付かせ豊かな未来を創ること、スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、市民が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある絆の強い社会を創ることを目的とする。

2. 事業内容

日本のトップアスリートを講師とし、講師自らの体験談を交えたワークショップ「JFAこころのプロジェクト 夢の教室」を市内全小学5年生を対象に実施する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	4,940
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		夢スポーツ支援 事業	夢スポーツ支援 事業	夢スポーツ支援 事業	夢スポーツ支援 事業
事	業費(単位:千円)	補助率	1,389	531	1,500	1,520
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金		1,389	500	500	1,000
訳	その他					
	一般財源			31	500	520

4. 本年度の	事業費内訳		予算額()	単位:千円)
	内	- 容	補助	単独
需用費	消耗品費(事務			20
委託料	JFAこころのプ	ロジェクト 夢の教室実施業務		1,500
		計		1,520

5. その他参考となる事項

令和2年度及び令和3年度については、オンライン授業による実施。令和4年度未定。

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 10 教育費 項 5 保健体育費 目 1 保健体育総務費					事業	名 サガン鳥	_b 栖交流事	業			
総合計画による位置づけ 基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり 政策分野 ④スポーツ											
実施主体市		所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	子	算書ペーシ	32	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

市民が「する」「みる」「さざえる」といった様々な形で積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ、喜びを得ることで、それぞれの人生を生き生きとしたものとするとともに、スポーツを通じた健康増進、共生社会の実現や経済・地域の活性化など、スポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことを目的とする。また、市民の成熟した文化としてスポーツを一層根付かせ豊かな未来を創ること、スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、市民が自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、スポーツの力で輝くことにより、前向きで活力ある絆の強い社会を創ることを目的とする。

2. 事業内容

プロサッカーチーム「サガン鳥栖」のホームゲームにおいて当市が冠スポンサーとなり、「サガン鳥栖」が持つプロスポーツの魅力を活用したまちづくり(スポーツをする、みる、かかる)を目的とした市民参加型のイベントを実施する。プロサッカー選手のプレーを観戦することで子どもたちの夢を育むとともに、イベント運営に関わるスポーツサポーターの育成を図ることによりスポーツに関わること、及びスポーツによる感動を味わうことの機会を創出する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	16,796
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		サガン鳥栖交流 事業	サガン鳥栖交流 事業	サガン鳥栖交流 事業	サガン鳥栖交流 事業
事	業費(単位:千円)	補助率	3,428	5,088	4,538	3,742
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			4,500	3,300	3,000
訳	その他					
	一般財源		3,428	588	1,238	742

4. 本年度の事業	費内訳	予算額(単位:千円)
	内容	補助	単独
報償費	特別賞 賞品		30
需用費	消耗品費(イベント用品)		20
役務費	手数料(法被・のぼり旗クリーニング代)		15
委託料	ゲームスポンサー		3,300
	盛り上げイベント業務		200
使用料及び賃借料	バス借上料(2台)等		177
	計		3,742

5. その他参考となる事項

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 4 衛生費 項 1 保健衛生費 目 1 保健衛生総務費							事	事業名 ここ	ころにや	さしいAEI	D購入費補	前助事業(例	R健衛生総	務管理費)
紛	総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ⑤健康・医療													
	実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		予算書	ページ	17	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

AED(自動体外式除細動器)は心停止状態に陥った人の身近な救命器具として設置の拡大が必要とされている。そのため、不特定多数が利用する特定施設が設置する場合の購入費の一部を補助することにより設置の促進を図り、市民の安全安心に寄与する。

4. 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

【対象施設】宿泊施設、自治公民館、福祉施設、幼稚園、その他市長が設置を必要と認める施設

【補助率】購入費の1/2以内

【補助限度額】・AED本体(1セット) 155,000円

・AED消耗品のみ 〈除細動パッド(2組以内)大人用 5,000円、子ども用 10,000円 ・バッテリー(1個) 20,000円〉

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	1,262
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		AED購入費に 対する補助	AED購入費に 対する補助	AED購入費に 対する補助	AED購入費に 対する補助
事	業費(単位:千円)	補助率	458	184	310	310
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					200
訳	その他					
	一般財源		458	184	310	110
5	その他参考とか	ム東頂				

	1 1	111177	十分五
負担金,補助及び交付金(補助金)	AED本体 155,000円×1セット=155,000円		155
【今回補正額】			
	AED本体 155,000円×1セット=155,000円		155
	<u>:</u>		
	<u>:</u>		
	<u>i</u> :		
	<u>.</u> 計		310

容

予算額(単位:千円)

補助単独

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 155千円 3月補正事業費 155千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 200千円 一般財源 △45千円

補正後事業費 310千円

◎AED本体 155,000円 × 2セット = 310,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	項 1 例	保健衛生費	目 4 =	予防費	事業名任	E意予防护	接種事業(子どもインフ	ルエンサ゛ワクラ	ゲン接種費用	軽減事業)	
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ⑤健康・医療												
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	予算書	事ページ	17	新規		継続	0

4. 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

任意の予防接種である子どもインフルエンザワクチンの接種費用の一部を助成することで接種の普及を図り、インフルエンザの感染防止と症状の軽減を目的とする。

2. 事業内容

《接種対象者》 0歳~18歳(高校3年生)

《助成額》 1回につき 1,000円 ※医療機関と委託契約し、接種費用のうち、交付要綱に基づく金額(1,000円)を委託料として医療機関へ支払う。 《助成回数》 2回(13歳以上は1回)

3.	全体計画	事業期間	令和 元	年度	\sim	令和 4	年度	事業費(千円)	15,537
	実施年度		令和元	年度	令和	口2年度	令	和3年度	令和4年度
			任意予防	接種	任意	予防接種	任意	予防接種	任意予防接種
	事業内容								
事	業費(単位:千円)	補助率		2,149		5,138		5,500	2,750
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金					2,000		2,000	1,300
訳	地方創生臨時交付金					2,500		1,000	·
	一般財源			2,149		638		2,500	1,450

委託料	1回目接種分 1,000円×1,375人×1回= 1,375,000円	1,375
【今回追加補正額】	1	
委託料	2回目接種分 1,000円×1,375人×1回= 1,375,000円	1,375
	計	2,750

容

予算額(単位:千円)

単独

補助

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 1,375千円 3月補正事業費 1,375千円 (補正財源内訳) 1,375千円

補正後事業費 2,750千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 3 民生	費	項 1 社	上会福祉費	目 1 社	社会福祉総務費	事業名	戦没者愿	生素塔建設	事業			
総合計画によ	る位置づけ	基本方	針 ともに支	こえ笑顔あふれ	るまちづくり			政	策分野	④地域福	祉•生活社	畐祉	
実施主体	実施主体市		所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	予算	喜書ページ	15	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

嬉野町出身の戦没者等を安置し、戦争の悲惨さと、戦没者等の尊い命の上に築かれた今日の平和の重みを永く後世に伝えること。

2. 事業内容

公会堂の解体に伴い、敷地内にある戦没者慰霊塔を解体し、新たに建設を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	~ 令	和 4	年度	事業費(千円)	18,030
	実施年度		令和元	年度	令和2	2年度	令和	和3年度	令和4年度
	事業内容								戦没者慰霊塔 建設事業
事	業費(単位:千円)	補助率						1,697	18,030
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								17,000
訳	その他								
	一般財源							1,697	1,030

5. その他参考となる事項

当初予算事業費32 千円3月(1号)補正事業費17,998 千円(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金17,000 千円
998 千円補正後事業費18,030 千円

4. 本年度の事	業費内訳		予算額(道	単位:千円)
	内		補助	単独
役務費	確認申請手数	料 13,000円、完了検査手数料 17,000円		30
委託料		設計監理委託一式 1,000円		1
	【今回補正額】	865,000円		865
	W/ \11 - \12 \14	L. Alextre Str. Dec. and Etc.		
工事請負費		本体建設一式 1,000円		1
	【今回補正額】			
		解体一式 1,265,000円		
	戦没者慰霊塔	本体建設一式 15,868,000円		17,133
		111		10.000
		計		18,030

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系				土会福祉費	目 2 🖟	章がい者福祉費	事	業名 障がい旅	函設職員就	職支援事	業		
総合計画によ	る位置づけ	基本方	針 ともにす	ええ笑顔あふれ	るまちづくり			政	大策分野	③障がい	者		
		市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		予算書ページ	15	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

市内の障がい者施設等に介護職員等として新たに就職した者に対して補助金を交付することで、職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにする。

2. 事業内容

市内の障がい者施設等に介護職員等として新たに就職した者に対して補助金を交付する。

対象者:新たに市内の障がい者施設に就職し、2年以上継続する見込みのある者

補助金額・・:(市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円・常勤職員で転入者以外 10万円・非常勤職員で転入者 10万円・非常勤職員で転入者以外 5万円 (市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円・非常勤職員で有資格者 5万円・常勤職員で無資格者 5万円・非常勤職員で無資格者 25千円 (資格取得) 10万円を上限としてかかった経費とする(一人1回限り)

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	~ 令和	4	年度	事業費(千円)	1,800
	実施年度		令和元	上年度	令和2年	F度	令和	和3年度	令和4年度
	事業内容						設等に		市内障がい者施 設等に新たに就 職した者に補助金 を交付する
事	業費(単位:千円)	補助率						900	900
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源							900	900

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 450 千円 3月(1号)補正事業費 450 千円 (補正財源内訳) 450 千円 相正後事業費 900 千円

4. 本年度の事業費			予算額()	単位:千円)
	内	容	補助	単独
負担金、補助金及び交付金	(市内に住所を有する者	f) 常勤職員で転入者 20万円×1名		200
	常	勤職員で転入者以外 10万円×1名		100
	į	非常勤職員で転入者 10万円×0名		0
		【今回追加補正】10万円×1名		100
	非常	「勤職員で転入者以外 5万円×0名		0
		【今回追加補正】5万円×1名		50
	(市外に住所を有する者)	常勤職員で有資格者 10万円×0名		0
		【今回追加補正】10万円×1名		100
		常勤職員で無資格者 5万円×1名		50
	非	=常勤職員で有資格者 5万円×0名		0
		【今回追加補正】5万円×1名		50
	非常	常勤職員で無資格者 2.5万円×0名		0
		【今回追加補正】2.5万円×2名		50
		資格取得 10万円を上限とする1名		100
		【今回追加補正】10万円×1名		100
				0
				0
		2		
計				900

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	<u> </u>			項 1 社	上会福祉費	I H 13 /	老人福祉費	=	事業名	个護施設	職員就職	支援事業		
総合計画に	よる位置	量づけ	基本方針	- ともに支	ええ笑顔あふれ	るまちづくり				政	策分野	②高齢者		
実施主体	本	市		所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		予算書	E/\ \ /	15	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

市内の介護施設等に介護職員として新たに就職した者に対して補助金を交付することで、介護施設の職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにするため。

4. 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

市内の介護施設等に介護職員として新たに就職した者に対して補助金を交付する。

対象者:新たに市内の介護施設に就職し、2年以上継続する見込みのある者

補助金額・・:(市内に住所を有する者) 常勤職員で転入者 20万円・常勤職員で転入者以外 10万円・非常勤職員で転入者 10万円・非常勤職員で転入者以外 5万円 (市外に住所を有する者) 常勤職員で有資格者 10万円・非常勤職員で有資格者 5万円・常勤職員で無資格者 5万円・非常勤職員で無資格者 25千円 (資格取得) 10万円を上限としてかかった経費とする(一人1回限り)

3.	全体計画	事業期間	令和	3 年度	~ 令和	4	年度 事業費(千円)	5,000
	実施年度		令和:	元年度	令和2年	度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						市内介護施設等 に新たに就職した 者に補助金を交 付する	市内介護施設等 に新たに就職した 者に補助金を交 付する
事	業費(単位:千円)	補助率					2,000	3,000
	国庫支出金							
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他(保険者機能強化推進交付金)						2,000	3,000
	一般財源							

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 1,500千円 3月(1号)補正事業費 1,500千円 (補正財源內訳)保険者機能強化推進交付金 1,500千円

補正後事業費 3,000千円

負担金、補助金及び交付金	(市内に住所を有する者) 常勤職員	員で転入者 20万円×2名	400	
	【今回	追加補正】20万円×3名	600	
	常勤職員で転	入者以外 10万円×2名	200	
		追加補正】10万円×2名	200	
	非常勤職員	で転入者 10万円×3名	300	
		追加補正】10万円×1名	100	
		云入者以外 5万円×1名	50	
		回追加補正】5万円×2名		
		で有資格者 10万円×2名		
		追加補正】10万円×1名		
		で無資格者 5万円×1名		
		可追加補正】5万円×1名		
	-	で有資格者 5万円×1名		
	_	回追加補正】5万円×1名		
		無資格者 2.5万円×2名		
		10万円を上限とする2名		
	【今回	追加補正】10万円×3名	300	
	-1			
	計		3,000	

容

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款	3 民生費		項 2 児	見童福祉費	目 1 月	児童福祉総務費	事	業名 放課後	後児童健全育	「成事業		
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ①妊娠・出産・子育て													
実施主体市		所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ペー	-ジ 16	新規	継続	0		

1. 事業の目的・効果

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、児童の健全育成を図る。

2. 事業内容

令和4年度実施場所

五町田小学校(4クラブ)、久間小学校(2クラブ)、塩田小学校(1クラブ)

嬉野小学校(4クラブ)、轟小学校(1クラブ)、吉田小学校(2クラブ)、大草野小学校(1クラブ)、大野原小学校(1クラブ) 計16クラブ

※祝祭日・日曜・お盆(8/13~8/15)及び年末年始(12/29~1/3)を除く。

※民営放課後児童クラブ(間接補助)(1クラブ)

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	620,089
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		放課後、保育の 必要な児童の 保育	放課後、保育の 必要な児童の 保育	放課後、保育の 必要な児童の 保育	放課後、保育の 必要な児童の 保育
事	業費(単位:千円)	補助率	134,439	140,050	151,659	193,941
	国庫支出金	1/3	45,715	42,371	44,602	57,091
財	県支出金	1/3	34,956	38,501	44,602	57,091
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他		16,914	17,145	16,879	22,505
	一般財源		36,854	42,033	45,576	57,254

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 188,793千円 第1号補正事業費 5,148千円 (補正財源内訳) 国庫支出金 1,716千円 県支出金 1,716千円 一般財源 1,716千円

補正後事業費 193,941千円

4. 本年度の事業費			予算額(単	位:千円)
	内	容	補助	単独
旅費	普通旅費(8,810	円)		9
需用費	消耗品費(事務用品等	等 33,180円) 印刷製本費(納付書等 43,599円)		78
	光熱水費(夏季休業	中空調代 361,500円 専用施設2,483,500円)	2,845	
	修繕料(クラブ室(修理費用 50,000円)	50	
役務費	手数料(口座振替	手数料 73,700円)		74
	保険料(建物共済	f 66,457円)	67	
委託料	業務委託等163,87	77,000円,警備231,000円,送り4,835,950円	168,944	
備品購入費	冷蔵庫、パーテー	ーション等	295	
負担金,補助及び交付金	(補助金)民営放	課後児童クラブ(間接補助)	16,431	
			,	
	【今回追加補正】			
委託料	放課後児童支援	員等処遇改善分 4,620,000円	4,620	
負担金,補助及び交付金	(補助金)放課後り	見童支援員等処遇改善分 528,000円	528	
	<u>. </u>			
			+	
	1	+	193,780	161

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	3 民生費	項 2 月	児童福祉費	目 1 년	児童福祉総務費	事	業名 子育*	てファミリー・サ	トポート事	業		
総合計画による位	【置づけ 基本方	針 ともにえ	支え笑顔あふれ	るまちづくり				政策分野	①妊娠・1	出産・子育	て	
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ペー	-ジ 16	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

保育所等を利用しない家庭において、一時的に家庭での保育が困難になった場合に児童を預けられたり保育所や放課後児童クラブ等の開所時間を超えた保育需要に応えることができ、安心して子育てができる。

2. 事業内容

①地域子育て支援センター(嬉野庁舎内)にファミリー・サポート・センターを設置し、専属のコーディネーターが「子育ての手助けをしてほしい人(お願い会員)」と「子育ての手助けをしたい人 (まかせて会員)」との連絡調整を行い、既存の子育てサービスでは対応できない一時的な預かりや送迎を行う。

4. 本年度の事業費内訳

②「まかせて会員」養成講座や資質の向上のためのフォローアップ。研修を行い、会員登録の促進に努める。

3.	全体計画	事業期間	令和 元	年度	~ 令和	4	年度	事業費(千円)	16,183
	実施年度		令和元年	三度	令和2年	F 度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容		子育てファ リー・サポー 業	小事	子育てファ リー・サポ [、] 業			てファミ サポート事	子育てファミ リー・サポート事 業
事	業費(単位:千円)	補助率	2	,999		3,422		5,233	4,529
	国庫支出金	1/3		933		933		933	1,433
財	県支出金	1/3		933		933		933	1,433
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源		1	,133		1,556		3,367	1,663

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費4,030千円第1号補正事業費499千円(補正財源内訳) 国庫支出金
県支出金
一般財源102千円
102千円
295千円

補正後事業費 4,529千円

4. 个一人少于木	- 		1 77 157(+	
	内	容	補助	単独
報酬	会計年度任用職	員1人:142,916円×12月=1,714,992円	1,715	
職員手当等	会計年度任用職	6員1人:142,916円×2.4月=342,999円	343	
共済費	会計年度任用職員1	人:(社会保険料 328,383円 雇用保険22,875円)	352	
報償費	サポーター養成講座・講習る	会講師謝礼:62,000円サポーター謝金(無料利用券分含む):798,290円	861	
旅費	費用弁償:1,800	円×12月=21,600円	22	
需用費	消耗品費:180,000)円(事務用品・交流会用品・養成講座諸経費)	220	36
	食料費:36,000円(ファ	ミサポ交流会等) 印刷製本費:40,000円(PR用チラシ)		
役務費	通信運搬費126,	100円(後納郵便料・携帯電話通話料)	474	
	保険料:346,700	円		
委託料	就業対策支援事	「業(子育て支援分)	1	
使用料及び賃借料	交流会用品借上	:料:6,000円(着ぐるみ借用料)	6	
	【今回追加補正】			
	就業対策支援事	「業(子育て支援分) 499,000円	499	
	-	<u> </u>	4,493	36

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	数 3 民生費	項 2 5	尼童福祉費	目 1 月	児童福祉総務費	事	業名 施設	型給付費				
総合計画による	6位置づけ 基本プ	が針 ともにう	支え笑顔あふれ	るまちづくり				政策分野	①妊娠・1	出産・子育	て	
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ペ	ージ 16	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

小学校以降の教育の基礎を作るための幼児期の教育を行う施設、就労などのため家庭での保育ができない保護者に代わって保育する施設、教育と保育を一体的に行う施 設を支援するとともに、入所児童の福祉の向上を図る。

2. 事業内容

保育所、認定こども園、幼稚園に対し運営経費として施設型給付費、地域型保育給付費を支弁する。 (認可保育所8園、幼保連携型認定こども園4園、新制度幼稚園1園、小規模保育所1園 等)

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年月	₹ ~ 令和 4	年度 事業費(千円)	4,534,851
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁	特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁	特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁	特定教育・保育 施設の施設型 給付費を支弁
事	業費(単位:千円)	補助率	1,052,66	1,135,705	1,125,759	1,220,727
	国庫支出金	1/2	468,60	9 543,023	545,670	597,409
財	県支出金	1/4	216,28	6 251,793	249,505	270,597
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他(負担金)		91,62	2 52,786	43,265	43,426
	一般財源		276,14	3 288,103	287,319	309,295

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 1,195,288千円 第1号補正事業費 25,439千円 (補正財源内訳) 国庫支出金 12,718千円 県支出金 6,359千円 一般財源 6,362千円

補正後事業費 1,220,727千円

4. 本年度の事業費		予算額(単	单位:千円)
	内 容	補助	単独
旅費	普通旅費11,220円 (保育料徴収)		12
需用費	消耗品費80,703円、印刷製本費83,595円		165
役務費	通信運搬費155,400円、手数料270,820円		427
委託料	保育所(施設型給付費) 721,704,680円	721,705	
負担金,補助及び交付金	認定こども園(施設型給付費) 397,178,320円	472,979	
	幼稚園(施設型給付費) 32,081,960円		
	小規模保育所(地域型保育給付費) 43,717,360円		
	【今回追加補正】		
委託料	保育所(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分)14,676,540円	14,677	
負担金,補助及び交付金	認定こども園(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 9,044,700円	9,045	
	幼稚園(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 1,020,420円	1,021	
	小規模保育所(保育士・幼稚園教諭等処遇改善分) 695,400円	696	
	計	1,220,123	604

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	項 2 り	見童福祉費	目 1 り	児童福祉総務費	事	業名 放課後	児童支援員	等処遇改	善臨時特	例事業		
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分							汝策分野	①妊娠・1	出産・子育	て		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ページ	ž 16	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く、放課後児童支援員や補助員等の処遇の改善を図る。

2. 事業内容

【事業内容】放課後児童支援員や補助員等の放課後児童クラブで働く職員の処遇の改善を図る。 【補助割合】保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)

3.	全体計画	事業期間	令和	3 年度	\sim	令和 4	年度 事業費(千円)	7,392
	実施年度		令和是	元年度	令	和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						放課後児童支援 員等処遇改善臨 時特例事業	放課後児童支援 員等処遇改善臨 時特例事業
事	業費(単位:千円)	補助率					1,584	5,808
		10/10					1,584	5,808
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他							
	一般財源							

4. 本年度の事業費	費内訳			予算額(重	単位:千円)
	内	容		補助	単独
	16クラブ			5,280	
負担金,補助及び交付金	(補助金)民営放	課後児童クラブ 1クラフ	ブ	528	
					·
					·
		H		5,808	

5. その他参考となる事項

(歳出) 委託料 (歳入) 保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10) 5,808,000円

11,000円×80人×6月=5,280,000円

負担金,補助及び交付金

民営放課後児童クラブ

11,000円×8人×6月=528,000円

合計 5,808,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	項 2 り	見童福祉費	目 1 !	児童福祉総務費	事	業名 保育士	二•幼稚園教記	渝等処遇。	收善臨時特	寺例事業		
総合計画による	位置づけ 基本方	針 ともにす	支え笑顔あふれ	るまちづくり				政策分野	①妊娠・1	出産・子育	て	
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		予算書ペー	・ジ 16	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く、幼稚園、保育所、認定こども園及び地域型保育事業所等における保育士、幼稚園教諭及 び保育教諭等の処遇の改善を図る。

2. 事業内容

【事業内容】保育士や幼稚園教諭等を対象に賃金改善を行う保育所や幼稚園等に対して賃金改善部分の補助を行う。 【補助割合】保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)

		_								
3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	\sim	令和	4	年度	事業費(千円)	31,642
	実施年度	=	令和元	年度	令	和2年	度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容								1.遇改善臨	保育士·幼稚園教 諭等処遇改善臨 時特例事業
事	業費(単位:千円)	補助率							6,204	25,438
	国庫支出金	10/10							6,204	25,437
財	県支出金									
源	市債									
内	ふるさと応援寄附金									
訳	その他									
	一般財源									1

4. 本年度の事業費内訳	予算物	頁(単位:千円)
内容	補助	単独
負担金,補助及び交付金 (補助金)		
保育所8園、認定こども園4園、幼稚園1園	图、小規模1園 25,4 3	38
計	25,43	38

保育士等処遇改善臨時特例交付金 国(10/10)

(歳入)

25,437,000円

5. その他参考となる事項

(農出)

(加米141)			
負担金,補助及び交付金			
嬉野りすの森保育園	1,852,320 円	ルンビニこども園	2,240,760 円
みのり保育園	1,608,240 円	嬉野ルンビニこども園	2,404,560 円
久間子守保育園	1,777,860 円	嬉野幼稚園	2,503,560 円
たちばな保育園	1,774,680 円	和光幼稚園	1,895,820 円
井手川内保育園	1,965,120 円	塩田幼稚園	1,020,420 円
岩屋保育園	1,880,880 円	うれしのつぼみ保育園	695,400 円
下宿保育園	1,852,320 円	合計	25,437,060 円
吉田保育園	1,965,120 円		

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

-	予算体系 款	項 2 り	見童福祉費	目 2 母子父子福祉費 事業名 ひとり親子育て世帯応援給付金事業									
糸	総合計画による位	位置づけ 基本方	針ともにす	ええ笑顔あふれ	るまちづくり			政	策分野	①妊娠・1	出産·子育	て	
	実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	Ę	予算書ページ	16	新規		継続	0

4. 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

母子家庭及び父子家庭の就学前の子どもがいる世帯に対し、子育て世帯応援給付金を支給することにより、ひとり親世帯の生活の安定と福祉の向上を図る。

2. 事業内容

母子家庭及び父子家庭の就学前の子どもがいる世帯に対し、子育て世帯応援給付金(月額7,000円/世帯)を支給する。児童扶養手当と同様の所得制限あり。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	13,839
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		ひとり親子育て 世帯応援給付 金事業	ひとり親子育て 世帯応援給付 金事業	ひとり親子育て 世帯応援給付 金事業	ひとり親子育て 世帯応援給付 金事業
事	業費(単位:千円)	補助率	3,206	3,619	3,507	3,507
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金		3,000	3,000	3,000	3,000
訳	その他					
	一般財源		206	619	507	507

	PI 谷	佣切	半四
扶助費	ひとり親子育て世帯応援給付金		
	1,754,000円		1,754
	【今回追加補正】		
扶助費	ひとり親子育て世帯応援給付金		1,753
	1,753,000円		
	<u> </u>		
			1

宏

予算額(単位:千円)

3,507

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 1,754千円 第1号補正事業費 1,753千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 1,500千円 一般財源 253千円

補正後事業費 3,507千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	数 3 民生費	項 2 り	見童福祉費	目 3 月	児童手当費	事業	名 子育て世	帯への臨	時特別給	付金(所得	尋超過者)	
総合計画による位置づけ 基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり 政策分野 ①妊娠・出産・子育て												
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	=	予算書ページ	16	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金で所得制限限度額を超過し支給対象外となった18歳までの子どもがいる世帯に対し、臨時特別給付金を支給することにより、子育て世帯に対する適切な配慮を行う。

2. 事業内容

【事業内容】新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援するため、所得限度額を超過し支給対象外となった18歳までの子どもがいる世帯に対し臨時特別給付金を支給する。

【給付額】対象児童1人につき10万円

【対象児童】平成15年4月2日から令和4年3月31日までに生まれた子ども(0~18歳)

【支給対象者】対象児童を養育する者(所得制限限度額超過者のみ)

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	\sim	令和	4	年度	事業費(千円)	18,030
<u> </u>	実施年度	7 710771114	令和元		令和	口2年月	度		和3年度	令和4年度
	事業内容									子育て世帯への 臨時特別給付金 (所得超過者)
事	業費(単位:千円)	補助率								18,030
	国庫支出金									
財	県支出金									
源	市債									
内	ふるさと応援寄附金									
訳	地方創生臨時交付金	定額								16,200
	一般財源									1,830

4. 本年度の事業を	費内訳		予算額(単	单位:千円)
	内	容	補助	単独
需用費	消耗品費 印刷月	用紙他 5,000円	5	
役務費	通信運搬費 郵便料	科 10,668円 手数料 振込手数料13,970円	25	
扶助費	対象児童数180丿	人×100,000円/人=18,000,000円	18,000	
		 	18,030	

5. その他参考となる事項

(歳入)

地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応)(定額) 16,200千円

(歳出)

扶助費

(対象者)180人(中学生以下 109人 + 高校生等 71人)×100千円=18,000千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農	木水産業費	項 1 月	農業費	目 3 月	農業振興費	j	事業名 う	うれしのフ	ランド野	菜づくり事	業		
総合計画による位置づけ 基本方針			針 進化と	創造、活力みな	ごぎるまちづくり)			政	策分野	①農業			
実施主体	個人	·事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書	書ページ	20	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

農業の担い手である認定農業者や、未来の担い手として期待される新規就農者等をはじめとする嬉野市の農業者が、稼ぐ農業を実践するための環境整備及び新たな産地育 成を行い、もって嬉野市の農業の魅力を高めていくために組織された団体に対する補助

2. 事業内容

うれしの産野菜等のブランド化のために必要な視察研修、苗代、資材等に要する経費

3.		事業期間	令和 :	3 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	626	4. 本年度の事	業費内訳
	実施年度		令和为	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		内
							うれしのブランド	旅費	(普通旅
	事業内容					野菜づくり事業	野菜づくり事業		【今回追
									(費用弁
事	業費(単位:千円)	補助率				313	313		【今回追
	国庫支出金							負担金、補助及び交	付金 (補助金)
財	県支出金								【今回追
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金					300			
訳	その他								
	一般財源					13	313		

26	4. 本年度の事業費内訳				予算額(重	<u></u> 単位:千円)
<u>:</u> ド	内	-	容		補助	単独
ド	旅費(普通)	 作費)				1
美	【今回	追加補正】肉付	け予算			8
						1
13		<u>-</u>				3
				補助金		1
	【今回	追加補正】肉付	け予算			299
13						
	1				i l	i

5. その他参考となる事項

【普通旅費】1,700円×1.3×2人×2回=8,840円 【費用弁償】1,500円×1.3×1人×2回=3,900円

【補助金】150,000円×2団体=300,000円

当初予算事業費 3千円 第1号補正事業費 310千円 (補正財源内訳) 一般財源 310千円 313千円 補正後事業費

	計	3.
li e e e e e e e e e e e e e e e e e e e		

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 詩	6 農林	水産業費	項 1 鳥	農業費	目 3 点	農業振興費	事	事業名 うお	いしの産	うまかもん	し給食支援	爰事業		
総合計画による	位置づけ	基本方	針 進化と	創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政	策分野	①農業			
実施主体			所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書	ページ	20	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

学校給食への地元農産物の利用を推進し、次代を担う児童・生徒の地域農林水産業に対する理解醸成及び嬉野市内産農林水産物の需要拡大を図る。

2. 事業内容

うれしの産うまかもん給食支援事業を実施する市内の学校給食センター運営協議会に対し、学校給食用食材料費の一部を負担する目的で予算の範囲内において補助金を 交付し、地元農産物の利用を推進する。

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	平成	19 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	6,121
	実施年度		令和	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容			の産うまか 食支援事		うれしの産うまか もん給食支援事 業	うれしの産うまか もん給食支援事 業
事	業費(単位:千円)	補助率		1,535	1,543	1,539	1,504
	国庫支出金						
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金			1,500	1,500	1,500	1,000
訳	その他						
	一般財源			35	43	39	504

5	その他参考とかる事項	

市内産材料費

	児童・生徒数	助成費
塩田学校給食センター	756人	574,560円
嬉野学校給食センター	1,222人	928,720円
計	1,978人	1,503,280円

当初予算事業費 1千円 第1号補正事業費 1,503千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 1,000千円 一般財源 503千円 補正後事業費 1,504千円

	内 容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	うれしの産うまかもん給食支援事業補助		1
	【今回追加補正】肉付け予算		1,503
	計		1,504

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林	水産業費	項 1 点	農業費	目 3 月	農業振興費	事業名	グリーンジ	ソーリズム	推進事業		
総合計画による	立置づけ	基本方	針 進化とな	創造、活力みな	ごぎるまちづくり)		政	策分野	①農業		
実施主体			所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	予算	書ページ	20	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

農山村地域での体験・交流等を目的とした農泊を行うグリーンツーリズムの振興を図り、農山村地域の所得を向上させ地域の活性化を図る。

2. 事業内容

グリーンツーリズム先進地の視察研修を実施する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		グリーンツーリズ ム推進事業	グリーンツーリズ ム推進事業	グリーンツーリズ ム推進事業	グリーンツーリズ ム推進事業
事	業費(単位:千円)	補助率	69	69	41	69
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		69	69	41	69

4. 本年度の事業	費内訳		予算額()	単位:千円)
	内	容	補助	単独
旅費	視察研修費			41
負担金	資料代、体験料			28
	計	-		69

5. その他参考となる事項

1 日当 1,700円×1.1(県外)×2日×3名 = 11,220円 2 宿泊料 9,000円×1.1(県外)×1日×3名 = 29,700円

3 資料代、体験料 28,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6 農林	水産業費	項 1 易	農業費	目 3 点	農業振興費	事	業名 スマー	ト農業推進事	事業		
総合計画によ	る位置づけ	基本方	針 進化とな	創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政策分野	①農業		
実施主体	個人•	事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書ペー	ジ 20	新規	継続	\circ

1. 事業の目的・効果

農業における担い手の高齢化が急速に進み、労働力不足が深刻化している中、ロボット技術や情報通信技術(IST)を活用したスマート農業を導入することにより、農作業における省力化・軽労化を更に進められることが出来るとともに、新規就農者の確保や栽培技術力の継承等が期待される。

2. 事業内容

嬉野市営農組合連絡協議会におけるロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用した先進地事例の視察及び農機具メーカーにおいて開発された技術の視察研修等、スマート農業を推進するための経費の補助。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度	-	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		スマート農業推進事業	スマート農業推進事業	スマート農業 推進事業	スマート農業 推進事業
事	工業費(単位:千円)	補助率	190	862	452	479
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		190	862	452	479

4. 本年度の	事業費内訳		予算額	(単位:千円)
	内	容	補助	単独
旅費	普通旅費			9
	費用弁償			3
負担金、補助及び	交付金 (補助金)			
	スマート農業推進事	業		179
	スマート農業推進事	業(機械導入)		288
		•		
	計			479

5. その他参考となる事項

旅費 普通旅費:職員 1,700円×1.3×2名×2回=8,840円

費用弁償:マイクロバス運転手 1,200円×2回=2,400円

負担金、補助及び交付金 補助金

①事業主体:嬉野市営農組合連絡協議会

内訳 謝金:30,000円×2回=60,000円

旅費: 県外1,650円×18組織×2名×2回=118,800円

②機械導入補助

田植之機1台 3, 176, 800円÷1. 1×1/10≒288, 000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

	予算体系 款	6 農林	水産業費	項 1 易	農業費	目 3 点	農業振興費	事	業名 新	規自営	就農者支	援事業			
ì	総合計画による位置づけ 基本方針				創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政	策分野	①農業			
	実施主体	個人•	事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書·	ページ	20	新規	·	継続	0

1. 事業の目的・効果

嬉野市に在住し、市内で新規に自営就農を行う農業者が自身の農業を開始するために必要な資材・機械や設備等の導入・整備に要する経費を補助する。

2. 事業内容

国及び県等の補助事業の対象外となる資材・機械や設備等の導入・整備等に係る経費のうち1/2以内で50万円を上限として補助する。 ただし、土地の造成又は井戸の掘削の場合は1/2以内で150万円を上限とする。 ※車、パソコン等の汎用性が高いと判断できるものを除く

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和	年度 事業費(FR)	15,500
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		新規自営就農 者支援事業	新規自営就農 者支援事業	新規自営就農 者支援事業	新規自営就農 者支援事業
事	「業費(単位:千円)	補助率	7,000	1,500	3,500	3,500
н.	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金				1,500	3,000
訳	その他					
	一般財源		7,000	1,500	2,000	500

4. 本年度の	事業費内訳		予算額(単位:千円)
	内	容	補助	単独
補助金	井戸導入(掘削)			1,500
	農業機械導入			2,000
	計			3,500

5. その他参考となる事項

【令和4年度予定】

井戸導入(掘削) 上限 1,500,000円 1件 農業機械導入 上限 500,000円 4件

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 詩	t 6 農林	水産業費	項 1 鳥	農業費	目 3 点	農業振興費	事	業名 うれし	の新農会活動	動推進事業	ŧ		
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ①農業													
実施主体	個人•	事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		予算書ペー	-ジ 20	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

新規就農者同士の交流を通じ、栽培技術の研鑽や経営能力の向上を図ることなどを目的に設立された「うれしの新農会」の活動資金として補助金を交付する。

2. 事業内容

「うれしの新農会」における交流会や研修会等に必要な活動資金の補助を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度 ~	~ 令和	年度 事業	費(千円)
	実施年度		令和元	年度 名	令和2年度	令和3年	
	事業内容						うれしの新農会 への活動費補 助金
事	業費(単位:千円)	補助率					100
	国庫支出金						
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源						100

4. 本年度の	事業費内訳		予算	算額(単位:千円)
		容	補具	助 単独
補助金	うれしの新農会への活動費	'補助金		100
	計			100

5. その他参考となる事項

うれしの新農会 活動資金としての補助金 100,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	7 商工費	項 1 商	i工費	目 4 鶴	光費	事	業名 観光	産業活性化事	事業(地域)	カ開発プロ	ュジェクト推	進事業)
総合計画による位	置づけ 基本方	針 進化と	創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政策分野	④観光業	Ē		
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ペー	-ジ 23	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

観光客及び観光消費額の増大など嬉野市全体の地域活性化に繋がる事業や新たな施策の検討・実施を目的とする。 観光産業の活性化及び地域資源の磨き上げが図られ、地域力の向上に繋がる。

2. 事業内容

これまでも取り組んできた「観光まちづくり」や「地域ブランドづくり」の更なる充実を支援するため、「嬉野市地域力開発プロジェクト会議」の各専門チームが実施する事業に対 し、補助を行う。

補助金は、組織を統括する(一社)嬉野温泉観光協会に交付する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	11,700
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		地域力開発プロ ジェクト推進	地域力開発プロジェクト推進	地域力開発プロジェクト推進	地域力開発プロ ジェクト推進
事	業費(単位:千円)	補助率	2,700	3,000	3,000	3,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			3,000	3,000	2,500
訳	その他					
	一般財源		2,700			500

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 1,500千円 R4.1号補正事業費 1,500千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 1,000千円 500千円 一般財源

補正後事業費 3,000千円

4. 本年度の事業	費内訳		予算額(重	单位:千円)
	内	~	補助	単独
負担金、補助及び交付金				1,500
		泉観光協会に対する補助		
	【今回追加補正】			1,500
	<u> </u>			
	•			
	<u> </u>			
	1	÷1.		2.000
	Ē	+		3,000

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	7 商工費	t	項 1 商	i工費	目 4 額	見光費	-	事業名 嬉野	版DN	IOを核と	した地域に	ブランドづ	くり推進事業	Ě
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり						政策	策分野	④観光業						
実施主体		Ħ	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ペ	ニージ	23	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

観光客及び観光消費額の増大など「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「嬉野市観光戦略」に掲げる重要業績評価指数の達成を目的とする。各産業団体や各地域資源の連携が深化し、「観光まちづくりと地域ブランドづくり」の更なる発展・充実が図られる。

2. 事業内容

観光地域づくりの中核を担う地域DMO運営や観光活性化に向けた事業及び観光関連団体の地域魅力アップ・地域ブランドづくり事業を実施する組織・団体に対し、事業費補助を行う。

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	令和 元	年度	~ 令	·和 4	年度	事業費(千円)	46,725
	実施年度		令和元年	年度	令和:	2年度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容		嬉野版DM 核とした地 ランドづくり	域ブ	嬉野版I 核とした ランドづ		核とし	版DMOを た地域ブ づくり推進	嬉野版DMOを 核とした地域ブ ランドづくり推進
事	業費(単位:千円)	補助率	2	2,000		9,725		10,000	5,000
	国庫支出金	50%	1	1,000					
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金					9,000		10,000	4,500
訳	その他								
	一般財源		1	1,000		725			500

【今凹追加補止】	2,500
<u>=</u> +	5.000

容

負担金、補助及び交付金 嬉野版DMOを核とした地域ブランドづくり推進事業費

【本同追加補正】

予算額(単位:千円)

単独

2,500

2 500

補助

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 2,500千円 R4.1号補正事業費 2,500千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 2,000千円 一般財源 500千円

補正後事業費 5,000千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 7 商工費		項 1 商	工費	目 4 観	上光費	Ę	事業名 1	修学旅行	誘致対策	事業		
総合計画による	る位置づけ	基本方針	進化と創	削造、活力みな	ぎるまちづくり)			政	策分野	④観光業		
実施主体	市	Ē	听属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算	書ページ	23	新規	継続	\circ

4 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

全国各地から市内宿泊の修学旅行誘致を目的とする。
市内宿泊を伴う修学旅行の誘致促進及び団体観光客の増加が図られる。

2. 事業内容

修学旅行で嬉野市内に宿泊を誘致した旅行業者に対し、宿泊数に応じて補助金を交付する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	1,780
	実施年度	-	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		修学旅行誘致 対策事業	修学旅行誘致 対策事業	修学旅行誘致 対策事業	修学旅行誘致 対策事業
事	業費(単位:千円)	補助率	630	150	500	500
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			100	300	
訳	その他					·
	一般財源		630	50	200	500

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 250千円 R4.1号補正事業費 250千円 (補正財源内訳) 一般財源 250千円

補正後事業費 500千円

4. 平中及り手来	其 内訳		料业: 下門)
	内容	補助	単独
負担金、補助及び交付金	修学旅行誘致対策事業		250
	旅行業者に対する補助		
	【今回追加補正】		250
	<u>:</u>		
	<u>i</u> i		
	⇒I		500
	計		500

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	7 商工費	項 1 商	i工費	目 4 額	見光費	事	業名 観光イ〜	ドント開催事	事業(まつり)振興事業	<u>(</u>)	
総合計画による位	こ置づけ 基本方	針 進化と	創造、活力みな	ぎるまちづく	Ŋ		Ę	女 策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ページ	23	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

まつり開催により活気ある嬉野温泉を演出するとともに地域の一体感創出と活性化を目的とする。 市内での各種まつり(イベント)を支援することにより、地域住民の交流促進、産業振興及び観光客誘致促進が図られる。

2. 事業内容

各まつり実行委員会等に対し、まつり開催に必要な費用を補助する。

3.	全体計画	事業期間	令和 元	年度	~ 令和	4	年度	事業費(千円)		11,929
	実施年度		令和元		令和2年	丰度	令	和3年度	令和4	年度
	事業内容		まつり開催費補助	事業	まつり開催費補助	崔事業	まつり費補助	開催事業助	まつり開作費補助	崔事業
事	業費(単位:千円)	補助率		3,878		1,083		3,348		3,620
	国庫支出金									
財	県支出金									
源	市債									
内	ふるさと応援寄附金					500		3,348		3,500
訳	その他									
	一般財源			3,878		583				120

5. その他参考となる事項	
※補助概要等については当	初予算と同じ

当初予算事業費 R4.1号補正事業第 (補正財源内訳)

補正後事業費

一般財源	2,000千円	
	△190千円	
	3,620千円	

4. 本年度の事業費内訳		予算額()	単位:千円)
内	容	補助	単独
負担金、補助及び交付金 まつり振興事業			1,810
各まつり実行委	員会等への補助		
【今回追加補正】			1,810
· ·			
: :			
<u> </u>			
	Т.		0.000
111111	Γ		3,620

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 7 商工費 項 1 商工費 目 4 観光費 事業名 デスティネーションキャンペーン事業												
総合計画による位	正置づけ 基本方	針 進化と	創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政策分野	④観光業	į		
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ペ	ージ 22	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

JRグループ旅客と指定された自治体、地元の観光事業者等が共同で実施する観光PR事業。 西九州新幹線嬉野温泉駅開業に合わせ周知を図り、市内観光客の増加を図る。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業に伴いJRグループで行われるデスティネーションキャンペーン事業を効果的に行うため、特に関西都市圏・新幹線沿線を重点的に本市のキャンペーンやPR・広報活動を行い周知を図る。

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	~ 令和	1 4	年度	事業費(千円)	39,650
	実施年度	-	令和元	年度	令和2	年度	令和	13年度	令和4年度
	事業内容								
事	業費(単位:千円)	補助率						17,455	21,095
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金							11,000	10,000
訳	地方創生臨時交付金							1,900	
	一般財源							4,555	11,095

5. その他参考となる事項

【JRデスティネーションキャンペーン事業】

- 1. JR大阪駅における観光・物産イベント 有田町・武雄市・嬉野市の3市町合同イベント開催 (大型ビジョンにて動画放映、特産品販売、観光PR)
- 2. JR西日本とのタイアップ事業 関西・中国地区からの観光客誘致のため、JR西日本とのタイアップ (交通メディア掲出、中吊りポスター等)
- 3. 嬉野市関係者を集めた情報交換会 嬉野市関係者を集めた情報交換会 大阪市内
- 4. 関西都市圏における情報発信 関西地区の各種媒体を活用した情報発信

4. 本年度の	事業費内訳			単位:千円)
		容	補助	単独
旅費	当初予算			1
	【今回追加補正】1,09	94,000円		1,094
広告料	当初予算			1
	【今回追加補正】2,99	99,000円		2,999
委託料	当初予算			1
	【今回追加予算】12,9	999,000円		12,999
負担金・補助及び	で付金			4,000
_				
_				
	計			21,095

7 1 2/4 - 12- -4	1
【様式1	1
IN DUI	

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 7 商工費			項 1 7	商工費	目 4 着	観光費	事業名 観	見光戦略	策定業務				
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり							政	策分野	④観光業				
実施主体		市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算書	書ページ	22	新規	\circ	継続	

1. 事業の目的・効果

観光業においては、コロナ禍により各施設の利用者数も制限が求められ、接客の際もより丁寧な対応が求められてきている。 これまでの量を求めてきた観光の在り方から、質への転換、高付加価値な商品・サービスの提供に取り組む必要がある。 旅行の多様化、個人化が一層進むことが想定され、それぞれの顧客ニーズに応じた価値の提示方法が高度化していく中で観光戦略の見直しが必須となってくる。 このため、コロナ禍を機にゼロベースで考えた新たな観光戦略の策定に取り組む。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業後の観光施策、コロナ禍のマーケティング戦略等をふまえた新たな観光戦略の策定を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	8,000
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率				8,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					7,000
訳	その他					
	一般財源					1,000

4. 本年度の事業費内	訳		予算額()	単位:千円)
内		容	補助	単独
委託料				8,000
	計			8,000

その他参考となる事項	
るの似 女 孝 レかる 東 頂	

	DAG DO .	•
•	#E 1	1
	<i>γ</i> -γγ-7. Γ	

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 7 商工費			項 1 7	5工費	目 4 額	観光費	事	業名 中国	地方	都市圏対	策事業			
総合計画による信	立置づけ	基本方針	進化と創	創造、活力みな	ぎるまちづくり)			政策	策分野	④観光業			
実施主体	市	i	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ペ	ージ	22	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

西九州新幹線嬉野温泉駅開業を控え、主要なエリアとなる中国地方都市圏において、主要な自治体やマスコミ等を訪問し嬉野市の情報発信に努め、市内観光客の増加を 図るとともに、今後も継続的な取り組みにつながるようネットワークを構築する。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業に伴い主要なエリアとなる中国地方において、本市のPR・広報活動を行い周知を図る。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率				920
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源					920

4. 本年度の事業	費内訳			予算額(単位:千円)
	内	_	容	補助	単独
報償費					100
旅費					200
需用費	燃料費				15
使用料及び賃借料					55
役務費	広告料				300
委託料					250
		計			920

5. その他参考となる事項

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	項 1 7	商工費	目 4 着	観光費	事業名	受入態勢	整備事業	<u>.</u>				
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ④観光業												
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算	書ページ	22	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

西九州新幹線嬉野温泉駅開業を前に、本市の観光資源を磨き上げ、受入態勢を整えるとともに、開業に向けた機運醸成を図る。

2. 事業内容

西九州新幹線嬉野温泉駅開業に向け、事業者や各団体が自ら創意工夫を持って取り組む事業に対して支援を行うとともに、セミナーを開催することにより、 関係者のおもてなしの向上と機運醸成に努める。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	
	実施年度	-	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					委託料
事	業費(単位:千円)	補助率				5,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源					5,000

4. 本年度の)事業費内訳		予算額(導	单位:千円)
	内	容	補助	単独
委託料	観光地磨き上げる	事業		5,000
	セミナー開催・事	務費		
	3	+		5 000

5. その他参考となる事項

【事業費内訳】

観光地磨き上げ事業 事業者 500,000円×4=2,000,000円

団体等 1,000,000円×2=2,000,000円

セミナー開催・事務費 1,000,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

刁	予算体系 款 5 労働費			項 1 分	労働諸費	目 1 分	労働諸費	事業名	就業対策	专支援事業			
総	総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ③商工業												
	実施主体	その	つ他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	予算	事ページ	19	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

近年、少子高齢化や人口減少、グローバル化を始めとする時代の大きな変化に加え、新型コロナウイルス感染症により、休業や失業等が生じている。 本市においても基幹となる観光業では、感染症拡大の影響に伴い、繁忙期と閑散期が急速に入れ替わるなど雇用に関して不安定な状況となっている。 このため、就業対策支援を行うことにより、求職者の就職要件(希望)と雇用者(事業者)側のマッチングを行い、市内事業所の人手不足の解消、市民の所得の向上、 心の豊かさの醸成及び女性の就業率の改善を目指す。

2. 事業内容

武雄市と嬉野市が合同で、新型コロナウイルス感染症により休業や失業等で求職する状況となった方や、勤務日数が減った方向けに、人手不足業種で仕事が提供できる 事業者の情報を提供し、お互いのマッチングを支援するもの。

令和3年度で登録のあった事業者や登録者とのワークショップ等も計画し、マッチングの増加につなげる予定である。

3.	全体計画	事業期間	令和 3 年度	~ 令和 4	年度 事業費(千円)	14,000	4. 本年度の事業費	骨内訳		予算額((単位:千円)
	実施年度	-	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		内	容	補助	単独
					補助金	補助金	負担金、補助及び交付金	(補助金)			1
	事業内容							【今回追加補正】			
							負担金、補助及び交付金	(補助金)7,999,0	00円		7,999
Ē	事業費(単位:千円)	補助率			6,000	8,000					
	国庫支出金										
則	- 県支出金										
源	市債										
	ふるさと応援寄附金				5,000	7,000					
訴	その他										
	一般財源				1,000	1,000					
			_								
5.	その他参考となる	る事項									
	当初予算事業費	,		1千円							
	第1号補正事業費	費		7,999千円							
	(補正財源内訳)	ふるさと応	援寄付金	7,000千円	Ī						
		一般財源	泵	999千円							
					-						
	補正後事業費			8,000千円	<u>-</u> '						
											1

8,000

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	7 商工費	項 1 雨	有工費	目 2 7	商工振興費	事業	業名 地域資	预活用対策	事業		
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ③商工業											
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書ペー	・ジ 22	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

今年秋、西九州新幹線嬉野温泉駅が開業する。新幹線など高速交通網の開業直後の効果は、主に「終着地点」で高くなる。 嬉野温泉駅は「通過地点」であるからこそ、降りて宿泊、滞在していただくための様々な目的や理由を用意しなければならない。 嬉野市が「選ばれる」「選ばれ続ける」ために、嬉野でなくてはならない必然性づくり、地域をリードする人材育成、地域資源を活かした商品づくりと販路拡大に努める。

2. 事業内容

①「商品」をつくる。地域資源を商品化していく。②「人」をつくる。主体的に動く人材をつくる。③「しくみ」をつくる。地域経営が継続化するしくみをつくる。 地域資源を活用するとき、地域内の既成概念にとらわれることなく、外部の知見を導入し、新たなアプローチを模索することが重要となる。 市内の個々の事業者で高度人材を育成するのは至難の業であるため、地域全体で人材育成を行っていく。 観光カリスマや大学教授に加え、地域の実践者など、日本トップレベルの講師陣を招き、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成していく。

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	~ 令和	4	年度 事業費(千円)	10,000
	実施年度		令和元	年度	令和2年	度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						委託料	委託料
事	業費(単位:千円)	補助率					5,000	5,000
	国庫支出金							
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他							
	一般財源						5,000	5,000

4. 本年度の	事業費内訳		予算額(単位:千円)
	内	容	補助	単独
委託料	嬉野市商工会に委	注託予定		5,000
	計	•		5,000

5. その他参考となる事項

①うれしの未来づくり塾

地域資源を商品化するとともに、主体的に動く人材を育てるために、まちづくり観光研究所や連携協定を締結する国立大学法人和歌山大学観光学部との連携により、観光カリスマや大学教授、実践者など、日本トップレベルの講師陣による人材育成講座を開催する。

②組織づくり

地域資源の活用、発展のためには、今後、組織づくりは不可欠である。

商工会・観光協会と連携し、組織づくりに努める。

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	7 商工費	項 1 i	商工費	目 2 7	商工振興費	事業名	名 地域商社	上推進事業	£			
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ③商工業												
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	子	算書ページ	22	新規	0	継続	_

1. 事業の目的・効果

令和3年度においては、販売システム活用事業として新たな商品開発への取り組みや省水力発電、クリーンエネルギーの研究を行った。 今年度は、新たな販売システムや地域商社とDMOとの関連づけなど組織の立ち上げを目的とする。

2. 事業内容

西洋野菜のブランド化を目的に新たな販売システムの確立を行い、商工会や本登録を目指すDMOとの組織連携を図っていく。

3.	全体計画	事業期間		~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					補助金
事	業費(単位:千円)	補助率				3,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					2,000
訳	その他					
	一般財源					1,000

4. 本年度の事業費	予内訳		予算	額(単位:千円)
ļ	内	容	補助	単独
補助金				3,000
	計			3,000

5. その他参考となる事項

西洋野菜の販売システム クリーンエネルギー 商工会・DMO連携

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 7 商工費			項 1 7		目 2 7	商工振興費	事	事業名 地	域産業活	舌性化事	業			
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ③商工業														
実施主体	そ(の他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書	ページ	22	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

令和3年度で展開した「うれしかーど」を利用した経済活性化と市内事業所への労働力の確保を図るため、 市内事業所への新規就労者に対し、「うれしかーど」の配布及びポイント付与を行う。

2. 事業内容

市内経済活性化と市内事業所への労働力の確保とともに、市内事業所へ新規就労者へ市内店舗における購買意欲を喚起するため、「うれしかーど」に独自のポイントを付与することにより、市内消費額の向上と市内経済活性化、市内経済循環の促進に努める。

3.	全体計画	事業期間		~ 令和 4	年度 事業費(千円)	5,030
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					補助金
事	業費(単位:千円)	補助率				5,030
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源					5,030

4. 本年度の事業費内訳		予算額()	単位:千円)
内	容	補助	単独
補助金			5,030
計	•		5,030

5. その他参考となる事項

【事業費内訳】

新規雇用者 940人×5,000円=4,700,000円 事務費 330,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

	予算体系 款	7 商工	ŧ	項 1 7	新工費	目 2 頁	商工振興費	<u></u>	事業名 新	型コロナ	ーウイルス	感染症緊急	急対策事業	(経済対策	支援事業)
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政							策分野	③商工業							
	実施主体	その	他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		予算書	ページ	22	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

新型コロナウイルス感染症により大きな影響を受け、市内経済が停滞している。 コロナ禍においても市内経済の活性化を図り経営を維持することを目的とし、国事業の有効活用や申請方法等、事業者が専門家による指導・助言を受けられるよう サポート体制を整備する。

2. 事業内容

国においては、コロナの影響を受けた事業の継続・回復を支援するため、事業復活支援金を設けられている。 支援金の申請がオンライン申請のみであることや、申請サポート会場が佐賀県内で1箇所のみであるため、申請に苦慮する事業者も想定される。 このため、市内にサポート会場を設けることによって申請が困難な事業者の円滑な給付と利便性の向上を図る。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					委託料
事	業費(単位:千円)	補助率				1,500
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	地方創生臨時交付金	定額				1,300
	一般財源					200

4. 本年度の事	¥費内訳		予算額	(単位:千円)
	内	容	補助	単独
委託料	経済対策支援事業			1,500
	計			1,500

5. その他参考となる事項

(歳入)

地方創生臨時交付金(新型コロナウイルス感染症対応)(定額) 16,200千円

(歳出)

委託料 30,000円/日×10日×2人= 600,000円/回

事務機器リース 50,000円/回

・年度内に2回実施

650,000円×2回= 1,300,000円 事務費 200,000円

計 1,500,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林	水産業費	項 1 鳥	農業費	目 4 差	於業振興費	事	事業名 2	うれしの茶	E 產地振興	具支援事業	É		
総合計画による	総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり								政	策分野	①農業			
実施主体	個人•	事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		予算	書ページ	21	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

全国茶品評会において、産地賞受賞を契機に地元茶商を中心に、更なるブランド力の強化を進めるとともに、地元児童・生徒への茶育活動を推進し、「うれしの茶」のPRと消費拡大に取組む事業を支援する。

補助金

2. 事業内容

消費拡大イベント、大都市イベント参加、見本市、試飲会、小中学校への茶育指導等の事業を実施する。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		大都市イベント、見本 市、試飲会等の消費拡 大イベント及び小中学 校への茶育活動等	大都市イベント、見本 市、試飲会等の消費拡 大イベント及び小中学 校への茶育活動等	大都市イベント、見本 市、試飲会等の消費拡 大イベント及び小中学 校への茶育活動等	大都市イベント、見本 市、試飲会等の消費拡 大イベント及び小中学 校への茶育活動等
事	業費(単位:千円)	補助率	3,000	3,000	3,000	3,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金			3,000	2,500	2,500
訳	その他					
	一般財源		3,000		500	500

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 1,500 R4.1号補正事業費 1,500

(補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 1,000千円 一般財源 500千円

補正後事業費 3,000千円

1,500千円	
1,500千円	
1,000千円	
1,500千円 1,500千円 1,000千円 500千円	
3,000千円	

4. 本年度の事業費内訳

負担金、補助及び交付金 うれしの茶産地振興支援事業

【今回追加補正】

予算額(単位:千円)

単独

1,500

1.500

3,000

補助

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系	款 6	農林水産業費	項 1 鳥	農業費	目 4 蕦	茶業振興費	事	事業名 さ	が園芸生	生産888個	意円推進 🖺	事業		
総合計画に	総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり								政	策分野	①農業			
実施主体	i 1	個人·事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		予算書	書ページ	21	新規		継続	\circ

4. 本年度の事業費内訳

負担金、補助及び交付金 さが園芸生産888億円推進事業

1. 事業の目的・効果

革新的技術の導入による収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及を進めるとともに、農業者を育成することにより経営の安定を図る。

2. 事業内容

県単事業の制度で、農業者が組織する団体に対し、県費1/2以内、市費1/10以上を補助する事業。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備 費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助	茶生産、加工施設・機械等整備費への補助
事	業費(単位:千円)	補助率	16,077	20,491	25,778	139,957
	国庫支出金					
財	県支出金		12,778	16,687	20,621	116,624
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		3,299	3,804	5,157	23,333

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 69,979千円 R4.1号補正事業費 69,978千円 (補正財源内訳) 県補助金 58,312千円 一般財源 11,666千円

補正後事業費 139,957千円

211 = 21 = 22 = 2 21 21 21 21	00,070
【今回追加補正】	69,978
計	139,957
	【今回追加補正】

予算額(単位:千円)

単独

補助

69,979

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林水産業費	項 1 鳥	農業費	目 4 🦠	茶業振興費	事業名 農地再生支援事業					
総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ①農業											
実施主体	個人·事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算書~	ページ 21	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

茶生産者の高齢化、後継者不足や茶単価の低迷等により中山間地はもとより平地において耕作放棄地が多く見られるようになってきた。このため、耕作放棄地を伐採した後、 抜根まで実施し農地の再生を行うとともに、抜根後の農地利用計画を作成し、適正な管理を行う。

4. 本年度の事業費内訳

2. 事業内容

耕作放棄地茶園の茶樹を伐採、抜根を実施した後、他品目への転換や自己保全管理等、土地利用計画を策定し適正な管理を行う農地に対する補助。

3.	全体計画	事業期間	令和	3 年度	~ 令和		年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和	元年度	令和2年	连度	令和3年度	令和4年度
	事業内容					:	茶園耕作放棄地を整 備後、転作や自己保 全を行う費用への助 成	
事	事業費(単位:千円)	補助率					1,000	1,000
	国庫支出金							
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	その他						·	
	一般財源						1,000	1,000

	l 1	∕□*	作り	十分以
負担金、補助及び交付金	農地再生支援事業			500
補助金	【今回追加補正】			500
	<u>:</u> 計			1,000

容

予算額(単位:千円)

単独

補助

5. その他参考となる事項

※補助概要等については当初予算と同じ

当初予算事業費 500千円 R4.1号補正事業費 500千円 (補正財源内訳)

一般財源 500千円

補正後事業費 1,000千円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	k 6 農林	水産業費	項 1 鳥	農業費	目 10	うれしの茶交流館費	事業名	入館者誘	致促進事	收促進事業			
総合計画による	総合計画による位置づけ 基本方針 進化と創造、活力みなぎるまちづくり 政策分野 ①農業												
実施主体	Ī		所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	予算	書ページ	21	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

うれしの茶交流館の体験メニューをツアーコースの一つに組み込んだ旅行業者に対し体験料の一部を補助するもの。

2. 事業内容

各体験メニューの一人あたりの体験料の30%を補助する。ただし、20名以上の場合は、団体割引後の30%を補助する。

3.	全体計画	事業期間	令和 (年度	~ 令和	年度 事業費(千	円)
	実施年度		令和え	元年度	令和2年	F度 令和3年度	令和4年度
	事業内容					うれしの茶交流館を旅 コースに組み込んだが 行業者に体験料の一日 を補助	
事	事業費(単位:千円)	補助率				45	9 459
	国庫支出金						
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源					45	9 459

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)
内	容	補助	単独
負担金補助及び交付金			
補助金			459
1111日	+		459

5. その他参考となる事項

【内訳】

淹れ方教室300円×30%×1,100人= 99,000円茶染め体験1,500円×30%× 500人=225,000円茶摘み体験600円×30%× 250人= 45,000円釜炒り茶体験1,000円×30%× 150人= 45,000円茶摘み・釜炒り茶体験1,500円×30%× 100人= 45,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 8 土木費			項 2 追	直路橋りょう費	目 2 並	直路橋りょう新設改良費	事業名	市道新設	改良事業	Ė		
総合計画による	総合計画による位置づけ 基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり 政策分野 ⑦道路・交通											
実施主体	市	Ē	近属部	建設部	所属課	建設課	予算	喜さページ かんしょう かんしょう かんしょう かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ かんしょ しゅうしゅ しゅうしゅう しゅうしゃ しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく しゃく し	24	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

市道の新設、道路拡幅、排水路改修を行い各種交通の安全性と渋滞の緩和を図り、また、良好な住宅環境を確保し地域生活基盤の向上を目的とする。

2. 事業内容

市道改良路線の測量設計、改良、用地買収、補償を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			市道改良	市道改良	市道改良	市道改良
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率	111,755	98,724	55,090	70,000
	国庫支出金					
財	県支出金					
源	市債	95%	57,000	48,900	17,900	25,600
内	ふるさと応援寄附金		18,336	30,000		
訳	その他					
	一般財源		36,419	19,824	37,190	44,400

5.	その他参考となる事項	

当初予算事業費		35,000 千円
第1号補正事業費		35,000 千円
(補正財源内訳)	市債	13,300 千円
	一般財源	21,700 千円

補正後事業費 70,000 千円

4. 本年度の事業費	 		予算額(単位:千円		
	内	容	補助	単独	
委託料	用地測量、設計業			8,050	
	【今回追加補正】骨	骨格予算への肉付けによる		8,050	
工事請負費	道路改良工事			23,300	
		骨格予算への肉付けによる		23,300	
公有財産購入費	用地買収			3,000	
		 格予算への肉付けによる		3,000	
補償、補填及び賠償金				650	
	【今回追加補正】骨	骨格予算への肉付けによる		650	
			•		
	計	•		70,000	

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 8 土木費			項 2 词		目 2 並	道路橋りょう新設改良費	事業名 社	会資本	整備総合	交付金事	業(市道詞	周査・改良)		
総合計画	総合計画による位置づけ 基本方針			針 自然と	周和、快適住生	活のまちづく	り		政	策分野	⑦道路•3	交通		
実施主	三体	-	Ħ	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書	ページ	24	新規		継続	0

4 木年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

道路防災事業及び舗装補修整備事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。

2. 事業内容

社会資本整備計画の事後評価を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			市道調查·改良	市道調查·改良	市道調查·改良	市道調查·改良
	事業内容					
事	業費(単位:千円)	補助率	64,997	342,758	104,798	2,500
	国庫支出金	52.50%	33,007	177,899	52,603	
財	県支出金					
源	市債	90%•100%	28,900	139,800	18,600	
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他					
	一般財源		3,090	25,059	33,595	2,500

5.	その他参考となる事項	

当初予算事業費1 千円第1号補正事業費2,499 千円(補正財源內訳)一般財源2,499 千円

補正後事業費 2,500 千円

4. 平宁及切	事未 賃内試		単位: 下門)
		補助	単独
委託料	社会資本整備計画事後評価業務		1
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる		2,499
			0.500
	<u> </u>		2,500

予算額(単位・千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	8 土木費	項 2 词	道路橋りょう費	目 2 道	道路橋りょう新設改良費	事業名 道路	メンテナンス事	耳業(橋りょ	う補修整備		
総合計画による位	針 自然と	調和、快適住生	活のまちづく	り		政策分野	⑦道路•3	交通			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書ペ	ージ 24	新規		継続	0

4 木圧度の事業費内部

1. 事業の目的・効果

市が管理する橋梁等について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。

2. 事業内容

橋梁等の定期点検及び補修整備を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 2	年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	218,568
	実施年度		令和元	5年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				橋梁補修設計	橋梁補修設計· 補修工事·定期 点検	橋梁定期点検・ 補修工事
事	業費(単位:千円)	補助率			9,405	81,463	127,700
	国庫支出金	57.75%			5,197	45,885	71,725
財	県支出金						
源	市債	90%				11,900	38,300
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源				4,208	23,678	17,675

5. その他参考となる事項

当初予算事業費 第1号補正事業費		23,901 千円 103,799 千円
(補正財源内訳)	国庫支出金 市債 一般財源	58,212 千円 38,300 千円 7,287 千円

補正後事業費 127,700 千円

4. 本牛度の事	事業質的訳 <u></u>	丁昇領(甲	
		補助	単独
委託料	橋梁定期点検	23,400	500
工事請負費	橋梁補修工事(橋山橋、平古場橋)		1
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる	100,800	2,999
	<u> </u>		
	計	124,200	3,500

予質類(単位:壬四)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	9 消防費	項 1 개	肖防費	目 5 岁	《害対策費	事業名	社会資本	整備総合	交付金事	業(木造住	宅耐震診断	派遣制度)
総合計画による位置づけ 基本方針 自然			調和、快適住生	活のまちづく	Ŋ		政	策分野	③住まい			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算	書ページ	27	新規		継続	0

4 本年度の事業費内訳

1. 事業の目的・効果

嬉野市に存する民間の一戸建住宅の地震に対する安全性の向上と耐震診断の促進を図り、安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。

2. 事業内容

住宅の耐震診断を実施する建築物の所有者に対し、佐賀県安全住まいづくり登録サポート建築士を派遣して耐震診断に係る業務を実施する。

3.	全体計画	事業期間	平成 20	6 年度	\sim	令和	年度	事業費(千円)	600
	実施年度		令和元	:年度	令	和2年度	令和	口3年度	令和4年度
			耐震診断	斤(0件)	耐震	診断(0件)	耐震認	诊断(3件)	耐震診断(3件)
	事業内容								
事	業費(単位:千円)	補助率		0		0		300	300
	国庫支出金	1/2						150	150
財	県支出金	1/4						75	75
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源	1/4						75	75

その他参考となる事	項	
当初予算事業費		1 千円
第1号補正事業費		299 千円
(補正財源内訳)	国庫支出金	149 千円
	県支出金	75 千円
	一般財源	75 千円
補正後事業費		300 千円

4. 平十 度 7.	/ 手未 負的队	丁异识(里	
		補助	単独
委託料	耐震診断士の派遣 3件	1	
	【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる	299	
	 計	300	
	計	300	

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	9 消防費	項 1 🤾	肖防費	目 5 岁	災害対策費	事業名 社	会資本整備	i総合交	付金事業(木造住宅配	耐震改修総合	`支援制度)
総合計画による位	[置づけ 基本方	針 自然と	調和、快適住生	:活のまちづく	り		政策分	分野	③住まい			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	予算書	ページ	27	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

嬉野市に存する民間の一戸建住宅の地震に対する安全性の向上と耐震改修の促進を図り、安全・安心なまちづくりを推進することを目的とする。

2. 事業内容

住宅の耐震改修工事を実施する建築物の所有者に対し予算の範囲内で補助を行う。

3.	全体計画	事業期間	平成 26	年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	1,000
	実施年度		令和元年	丰度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			耐震改修(0件)	耐震改修(0件)	耐震改修(0件)	耐震改修(1件)
	事業内容						
事	業費(単位:千円)	補助率		0	0	0	1,000
	国庫支出金	1/2					500
財	県支出金	1/4					250
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他						
	一般財源	1/4		·			250

5.	その他参考となる事項	

当初予算事業費		1 千円
第1号補正事業費		999 千円
(補正財源内訳)	国庫支出金	499 千円
	県支出金	250 千円
	一般財源	250 千円

補正後事業費 1,000 千円

4. 本年度の事業費内訳	予算額(
内容	補助	単独
負担金、補助及び交付金 補助金 (耐震改修費 1件)	1	
【今回追加補正】骨格予算への肉付けによる	999	
計	1,000	

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 6 1	企画費	事業名 塩	田地区デマンドダ	通実証運	行業務		
総合計画による位置づけ 基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり				(h		政策分野	⑦道路・3	交通			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	予算書	ページ 13	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

廃止代替バス路線である上久間線の利用低迷を受け、同路線を含め周辺の公共交通空白地域への対応も念頭に塩田地区全体を対象としたデマンド交通の検討・実証を行う。

2. 事業内容

令和3年度に策定した「嬉野市地域公共交通計画」に基づき、需要に応じたサービス水準の適正化を図る。特に利用が低迷する乗合タクシー上久間線を含めた塩田地区全体を対象としたデマンド交通の実証を行い需要に合わせた運行形態へ見直し公共交通の網羅性向上を図る。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	~ *	令和	年度	事業費(千円)	
	実施年度		令和元	年度	令和	口2年度	令和	13年度	令和4年度
	事業内容								
事	業費(単位:千円)	補助率							2,000
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源								2,00

4. 本年度の事業	費内訳		予算額()	単位:千円)
	内	容	補助	単独
委託料		交通実証運行業務		2,000
	普通タクシー車両	可 1台、8時間/日、週2日稼働		
	実証運行期間 1	か月程度		
		}		2,000

5. その他参考となる事項

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

	予算体系 款	2 総務費	項 1 約	総務管理費	目 6 1	企画費	事業名 未	亲技術社	:会実装	事業			
I	総合計画による位置づけ 基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり						政策	分野	①新幹線	駅周辺ま	ちづくり		
	実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	予算書	ページ	13	新規	i	継続	\circ

1. 事業の目的・効果

本年9月に開業する新幹線嬉野温泉駅と道の駅、さらに駅前観光文化交流施設等の新たな交流拠点誕生を契機に、未来技術(AR/VR、自動運転など)を活用した本事業に取り組むことで交流人口の拡大を図るとともにコロナ禍で低迷した既存産業の再生、新産業の創出による地域課題の解決を目指す。

2. 事業内容

令和3年度に応募し採択された内閣府の未来技術社会実装事業は、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で先導性と横展開可能性に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制を構築し、関係省庁による総合的な支援を受け行っていく事業である。本年9月の新幹線開業を好機と捉え、未来技術を活用した観光産業の復興及び未来技術による新産業を創出し、コロナ禍により地域が直面している課題解決を図っていく事業である。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	~ 令和 8	年度 事業費(FR)	
	実施年度	=	令和元	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				事前調査、内閣 府への応募支 援	協議会運営支 援	
事	業費(単位:千円)	補助率			4,488	5,291	86,000
	国庫支出金	1/2					43,000
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他				4,400)	
	一般財源				88	5,291	43,000

4. 本年度の事業費内訳		予算額(単位:千円)
内	—————————————————————————————————————	補助 単独
委託料		86,000
	計	86,000

5. その他参考となる事項

▶未来技術社会実装事業 採択数

平成30年度 14事業 令和元年度 8事業 令和2年度 12事業

令和3年度 9事業(内1つが嬉野市)

▶嬉野市未来技術地域実装協議会(令和3年11月発足)

第一回協議会 令和3年11月19日 開催 第二回協議会 令和3年12月23日 開催 ▶令和4年度 事業内容

①嬉野の魅力を全国・全世界に発信する環境づくり

- ・拠点施設のサイネージ・VRゴーグル等の環境設計
- ・動画広告配信デジタルプロモーション(既存素材の選定・再編集など)及び効果検証
- ・来訪者と生産者をオンラインで結ぶコミュニケーション環境づくり
- ・オンラインツアー、体験ツアー作成検討
- ②来訪者の移動を支えるモビリティサービス
- ・パーソナルモビリティの導入検討(試行含む)
- ・自動運転サービス導入検討(交通環境調査、導入可能性調査、体験会の実施)
- ③5G技術を活用した各種データの収集・提供
- ・データプラットフォームシステムの検討・試行
- ④協議会運営支援

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	8 土木費	項 4 和	都市計画費	目 5 亿	公園費	事業名	社会資本團	整備総合交	:付金事業(公園施設長	長寿命化対策	(支援事業)
総合計画による位	置づけ 基本	方針 自然と	調和、快適住生	生活のまちづく	(h		政	策分野	②自然と	都市		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	予算:	書ページ	25	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

5. その他参考となる事項

老朽化した都市公園施設を計画的に改築することで、公園利用者の安全・安心の確保や、公園施設の維持管理にかかるトータルコストの低減を図る。

2. 事業内容

嬉野総合運動公園内の防護柵改修並びに北部公園内の照明灯改修を行う。 防護柵改修 L=260m 照明灯改修 N=7基

3.	全体計画	事業期間	令和	2 年度		令和	6	年度	事業費(千円)	120,000
	実施年度		令和	元年度		·和2年	度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容				施設	改修		長寿の更	命化計画 新	施設改修
事	業費(単位:千円)	補助率				17	,289		11,000	13,000
	国庫支出金	1/2				8	,500		5,000	6,000
財	県支出金									
源	市債					7	,600			5,400
内	ふるさと応援寄附金									
訳	その他									
	一般財源					1	,189		6,000	1,600

当初予算事業費	1千円	
3月補正事業費	12,999千円	
(補正財源内訳) 国庫支出金	5,999千円	
市債	5,400千円	
一般財源	1,600千円	

4. 本年度の事	業費内訳	予算額(単	
	内 容	補助	単独
工事請負費	施設改修(防護柵及び照明灯)	1	
	【今回追加補正】		
	施設改修(防護柵及び照明灯)	11,999	1,000
	<u> </u>		
		- +	
		+	
	計	12,000	1,000

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林水産業費	項 1 月	農業費	目 9 鳥	農業農村整備費	事業名 基幹	:水利施設スト	ックマネジ	メント事業		
総合計画による位	置づけ 基本方針	+ 進化と	創造、活力みなき	ぎるまちづくり)		政策分野	①農業			
実施主体	県	所属部	建設部	所属課	農林整備課	予算書ペ	ージ 21	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

大牟田排水機場の効率的な機能確保を実施する仕組みを整備し、施設の長寿命化の観点に立った予防的な保全対策を通じ施設管理の合理化を推進する。

2. 事業内容

機能保全計画に基づき、老朽化が進む大牟田排水機場の維持補修を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度		令和		年度	事業費(千円)	
	実施年度		令和テ	6年度	令	和2年	度	令	和3年度	令和4年度
	事業内容									大牟田排水機 場維持補修実 施設計書
事	業費(単位:千円)	補助率								6,500
	国庫支出金									
財	県支出金									
源	市債									
内	ふるさと応援寄附金									
訳	その他									
	一般財源									6,500

5.	その他参考となる事項	

「事業内容」 基幹水利施設ストックマネジメント事業(県営)

※大牟田排水機場の維持補修を県営事業で実施する。

「補助率」 《国:50% 県:30% 市:20%≫

※市は負担金として県へ拠出するが、R4年度の実施設計は市の100%負担となる。

「事業期間」 R4年度:維持補修実施設計、R5年度:事業実施の法手続きの実施

R6年度~R10年度:事業実施

[当該年度事業費] 大牟田排水機場 維持補修 実施設計書 (単独費)

※骨格予算(科目存置)に対する肉付けによるもの

		The Hot o	
4. 本年度の事業費内訳		丁 昇額(単位:千円)
内	容	補助	単独
	水機場 維持補修実施設計書		1
【今回追	加補正】6,499,000円		6,499
			<u> </u>
			ļ
	*		
	計		6,500

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	6 農林水産	業費 項 1	農業費	目 9 月	農業農村整備費	事	事業名 農村地域	防災減災事業	業(ため池、ハ	サート・マップ・多	片化・地震・豪	雨耐性評価)
総合計画による位	置づけ基	本方針 進化	と創造、活力を	yなぎるまちづく!	Ŋ		Ę	效策分野	①農業			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		予算書ページ	21	新規		継続	\circ

1. 事業の目的・効果

総合的な防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。

2. 事業内容

防災重点ため池のハザードマップ作成および、ため池劣化・地震・豪雨耐性評価を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 2	2 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	148,035
	実施年度		令和え	元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容				整備工事測量 設計2ヶ所•廃止 工事1ヶ所	工事設計1ヶ所・ 工事1ヶ所・ HM18ヶ所	設計2·工事2· HM、劣化地震 豪雨耐性評価
事	業費(単位:千円)	補助率			20,231	30,264	97,540
	i I	定額・55%			12,100	24,400	84,350
財	県支出金	18%			360	1,440	3,060
源	市債	90%					2,200
内	ふるさと応援寄附金						
訳	その他	12%			3,540	960	2,040
	一般財源				4,231	3,464	5,890

5. その他参考となる事項

事業内容] ・ため池ハザードマップ作成業務委託 (34箇所)

補助基本額12,000千円×10/10=12,000千円

・ため池劣化・地震・豪雨耐性評価業務委託 (5箇所)

補助基本額45,000千円×10/10=45,000千円

[補助率] 《国:100%》

※国費は県を介しての間接補助

当初予算事業費

39,840千円

R4.1号補正事業費

57,700千円

(補正財源内訳) 県支出金

57,000千円

一般財源

700千円

補正後事業費

97,540千円

4. 本年度の事業	費内訳		予算額(単	位:千円)
	内	容	補助	単独
委託料	五本柳ため池廃」	止実施設計	6,000	300
	上林ため池底樋		1,500	300
		】※骨格予算の肉付け57,700,000円		
		ドマップ作成業務委託	12,000	200
	ため池劣化・均	也震・豪雨耐性評価 業務委託	45,000	500
使用料及び賃借料	五本柳ため池廃」	止工事用地借上げ	400	100
工事請負費	ため池廃止工事		11,600	2,000
	ため池底樋改修	工事(上林)	15,500	2,000
負担金、補助及び交付金	: (負担金)佐賀県	土地改良事業団体連合会特別賦課金		140
	· -	+	92,000	5,540

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

ĺ	予算体系 款	10 教育費	項 1 教	故育総務費	目 2 事	事務局費	事業名	中体連選	手派遣費	·補助		
	総合計画による位	:置づけ 基本方	針 しなや7	かでたくましい「	人」育むまち	づくり		政	策分野	①教育		
ĺ	実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	予算	書ページ	28	新規	継続	0

1. 事業の目的・効果

教育振興のため、「児童生徒の運動競技の基準」に基づき、学校教育活動として、中体連大会に出場する場合に出場校の校長に対し補助することを目的とする。

2. 事業内容

中体連大会とは、学校教育団体の主催する運動競技をいい、学校教育団体とは、地区大会・佐賀県大会・九州大会及び全国大会を主催する中学校体育連盟をいう。補助対象期間は、大会開催要項に定められた期間を限度とする。補助金の交付対象となる経費は、交通費及び宿泊に要する経費とする。交通費は、鉄道賃、船賃、航空運賃及び車賃とし、最も経済的な経路及び方法により算出する。宿泊費は、1泊8,000円を限度とする。

4. 本年度の事業費内訳

3.	全体計画	事業期間	平成 18	年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	6,107
	実施年度		令和元4	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		中体連大: 場校の校: の補助		中体連大会出 場校の校長へ の補助	中体連大会出 場校の校長へ の補助	中体連大会出 場校の校長へ の補助
事	業費(単位:千円)	補助率		2,495	111	1,583	1,918
	国庫支出金						
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金					1,000	1,500
訳	その他						
	一般財源			2,495	111	583	418

5.	その他参考となる事項	

当初予算事業費 959千円 3月補正事業費 959千円 (補正財源内訳) ふるさと応援寄附金 1,500千円 一般財源 △541千円

補正後事業費 1,918千円

	内	容	補助	単独
負担金, 補助及び交付金	(補助金)中体連大会出場校	への補助 959,000円		959
	【今回追加補正】肉付けに。			
	(補助金)中体連大会出場校	への補助 959,000円		959
	計			1,918

予算額(単位:千円)

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 10 教育費		項 2 /	項 2 小学校費 目 1 学校管理費			事	事業名 非接触型自動水栓化							
総合計	画による位	置づけ 基本力	が針 しなや	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野 ①教育						
実施	主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書へ	ニージ	29	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクの軽減及び児童生徒の衛生面での不安を解消することで、手洗いを徹底し、学校現場での感染防止を高めることができる。

2. 事業内容

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するために、学校の手回し式の水道蛇口を非接触型の自動水栓等に切り替える。

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	~ 令	和 4	年度 事業費(千円	19,422
	実施年度	-	令和元	年度	令和:	2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						非接触型自動 水栓等の設置	非接触型自動 水栓等の設置
事	業費(単位:千円)	補助率					12,296	7,126
	国庫支出金							
財	県支出金							
源	市債							
内	ふるさと応援寄附金							
訳	地方創生臨時交付金						6,000	6,400
	一般財源						6,296	726

4. 本年度の事業	費内訳			予算額(単	单位:千円)
	内	-	容	補助	単独
工事請負費	非接触型自動水	栓等設置(7校)	7,125,800円	7,126	
			·		
		+		7,126	

5. その他参考となる事項

非接触型自動水栓等の設置(7校) 【設置場所】トイレ及び特別教室 【種類】①自動水栓タイプ ②レバーハンドル

学校名	設置数(個)	学校名	設置数(個)
五町田小	33	轟小	47
久間小	33	吉田小	97
塩田小	43	大草野小	27
嬉野小	143	合計	423

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 10 教育費		項 3 「	中学校費	目 1 =	事	事業名 非接触型自動水栓化						
総合計画による	る位置づけ 基本		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野 ①教育					
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書ペー	ジ 30	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクの軽減及び児童生徒の衛生面での不安を解消することで、手洗いを徹底し、学校現場での感染防止を高めることができる。

2. 事業内容

接触に伴う新型コロナウイルスの感染リスクを軽減するために、学校の手回し式の水道蛇口を非接触型の自動水栓等に切り替える。

3.	全体計画	事業期間	令和 3	年度	\sim	令和	4	年度 事業費(千円)	15,512
	実施年度	=	令和元	年度	令	和2年度	7 H	令和3年度	令和4年度
	事業内容							非接触型自動 水栓等の設置	非接触型自動 水栓等の設置
事	業費(単位:千円)	補助率						6,382	9,130
	国庫支出金								
財	県支出金								
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	地方創生臨時交付金							3,000	8,200
	一般財源							3,382	930

4. 本年度の事業	費内訳	予算額()	単位:千円)
	内容	補助	単独
工事請負費	非接触型自動水栓等設置(4校) 9,130,000円	9,130	
	計	9,130	

5. その他参考となる事項

非接触型自動水栓等の設置(4校) 【設置場所】トイレ及び特別教室 【種類】①自動水栓タイプ ②レバーハンドル

学校名	設置数(個)
塩田中	134
嬉野中	144
大野原中	13
吉田中	110
合計	401

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款 10 教育費		項 3 「	中学校費	目 1 音	学校管理費	事	業名 ICT環境	整備事業	(オンライ	ン学習環切	竟整備)	
総合計画による	方針 しなや	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野 ①教育						
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書ページ	30	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

学校の臨時休業等の期間中も切れ目ない学習環境を提供することで、生徒の学びの場を保障することができる。

2. 事業内容

インターネット環境がない家庭に対し、モバイルルーターを貸し出し、オンライン学習を実施する。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	3,486
	実施年度	-	令和元	年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容						モバイルルー ターの貸出しに 係る経費
事	業費(単位:千円)	補助率					3,486
	国庫支出金						
財	県支出金						
源	市債						
内	ふるさと応援寄附金						
訳	地方創生臨時交付金						1,300
	一般財源						2,186

4. 本年度の事業を	費内訳		予算額()	単位:千円)
	内	-	補助	単独
役務費		信運搬費 2,006,400円		2,007
備品購入費	モバイルルーター	・及び契約事務手数料 80台 1,478,400円	1,479	
		}	1,479	2,007

5. その他参考となる事項

役務費(通信運搬費) 通信運搬費 1,900円×80台×12か月×1.1=2,006,400円

備品購入費 モバイルルーター 13,800円×80台×1.1=1,214,400円

契約事務手数料 3,000円×80台×1.1=264,000円

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 詩	次 10 教育費	項 4 神	土会教育費	目 7 7	文化財費	事業	全 名 22世紀	2に残す佐賀	!県遺産			
総合計画による	位置づけ 基本力	i針 しなや	かでたくましい「	人」育むまち、	づくり			政策分野	③歴史・	文化・芸術		
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書ペー	・ジ 31	新規	0	継続	

1. 事業の目的・効果

佐賀県美しい景観条例第8条の規定に基づき、県民の郷土に対する愛着を育み活力ある佐賀県の創造のため、美しい景観を有する地区又は地域を象徴する建造物を、これにまつわる物語とともに認定された佐賀県遺産について、保存活用の推進を図る。

2. 事業内容

佐賀県遺産の保存活用を図るため、建造物の修理、移築、買い取りを行おうとする場合や、地区の良好な景観の保全・形成及びその活用に資する各種活動を行う場合において、補助を行う。

3.	全体計画	事業期間	令和 4	年度	\sim	令和	年度 事	業費(千円)	10,000
	実施年度		令和元	年度	令	和2年度	令和:	3年度	令和4年度
	事業内容								保存修理に対 する補助
事	業費(単位:千円)	補助率							10,000
	国庫支出金								
財	県支出金	1/2							5,000
源	市債								
内	ふるさと応援寄附金								
訳	その他								
	一般財源								5,000

4. 本年度の事業費内訳	予算額(単位:千円)
内 容	補助 単独
負担金,補助及び交付金 修理補助 1件	1
【今回追加補正】9,999,000円	9,999
計	10,000

5. その他参考となる事項

志田陶磁器株式会社 修理費用

当初予算事業費 1 千円 今回補正事業費 9,999 千円 (補正財源內訳) 県支出金 4,999 千円 一般財源 5,000 千円

補正後事業費 10,000 千円

補助率(参考) 活用する補助金「22世紀に残す佐賀県遺産」支援事業費補助金

区分	対象経費	対象経費
建造物		予算の範囲内で経費対象の1/2以内 ただし、千円未満は切り捨て、県費とあわせて1,000万円 を上限とする。
地区		予算の範囲内で対象経費のうち佐賀県から交付される補助金を引いた残りの額の4/5以内ただし、千円未満は切り捨て、県費とあわせて250万円を上限とする。

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	: 10 教育費	項 4 袖	土会教育費	目 7 又	文化財費	事	業名 伝統	的建造物群基	盤強化(個	呆存修理)	事業	
総合計画による	位置づけ 基本方	針しなや	かでたくましい「	人」育むまち	づくり			政策分野	③歴史・3	文化・芸術	:	
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書ペー	-ジ 31	新規		継続	0

1. 事業の目的・効果

嬉野市塩田津伝統的建造物群保存地区内における建築物、工作物等の修理や修景事業を実施し、重要伝統的建造物群保存地区としての景観を保全する。

2. 事業内容

嬉野市塩田津伝統的建造物群保存地区の建築物や工作物を修理・修景することにより歴史的な町並みを保全する。また、市民に対して文化財保護への意識向上や郷土愛 の醸成を図る。令和4年度は2件の家屋修理を予定。

4. 本年度の事業費内訳

伝統的建造物の外観及び構造耐力上必要な部分の修理に係る経費、設計・監理に係る経費等を事業費の8割以内(限度額有)で補助する。

3.	全体計画	事業期間	平成 18 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	131,061
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		保存修理3件 公有財産購入	保存修理2件 公開活用施設 設計委託	保存修理2件 公開活用施設 新築	保存修理2件
事	業費(単位:千円)	補助率	19,391	20,951	77,618	13,101
	国庫支出金	1/2	9,695	10,445	38,807	6,549
財	県支出金	18%	3,064	3,760	13,969	2,357
源	市債					
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他(合併特例債)	95%			15,700	
	一般財源		6,632	6,746	9,142	4,195

14 111 2 1 2	
快存修理2件	旅費
	需用費
13,101	
6,549	負担金,补
2,357	
4,195	
•	

5. その他参考となる事項

国庫補助事業 伝統的建造物群基盤強化(修理)事業(1/2)

当初予算事業費 3 千円 今回補正事業費 13,098 千円 (補正財源内訳) 国庫支出金 6,548 千円 県支出金 2,356 千円 一般財源 4,194 千円

補正後事業費 13.101 千円

	7 Designation 1	21	
負担金,補助及び交付金 仍	呆存修理補助金(修理)2件	1	
[今回追加補正】12,999,000円	12,999	
仔	R存計画番号 A32-5、A25-3 修理補助		
<u>i</u>			
+			
	計	13,101	

容

費用弁償 文化庁調査官旅費 一式

【今回追加補正】77,920円

消耗品費 事務用品 一式 【今回追加補正】20,380円

予算額(単位:千円)

78

単独

補助

令和4年度 第1号 補正予算 事業計画書兼主要な事業の説明書

予算体系 款	: 10 教育費	項 4 神	土会教育費	目 7 ブ	文化財費	事	業名 社会	資本團	整備総合	交付金事	業(街なみ	→環境整備	事業)
総合計画による	位置づけ 基本	方針 しなや	かでたくましい	人」育むまち	づくり			政策	策分野	③歴史・3	文化·芸術	:	
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		予算書ペ	ージ	31	新規		継続	0

4 太年度の重業費内記

1. 事業の目的・効果

嬉野市塩田津を中心とした地区の景観を保全しながら、道路、防災施設やサイン等を整備し、地域及び来訪者の利便性を高める。

2. 事業内容

国の街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金事業)を活用し、塩田津を中心に消火栓の設置や道路美装工事を行う。

3.	全体計画	事業期間	平成 18 年度	~ 令和	年度 事業費(千円)	98,990
	実施年度		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	事業内容		道路美装、消火 栓設置、修景補 助	道路美装、消火 栓設置、修景補 助	道路美装、消火 栓設置、修景補 助	道路美装、消火 栓設置
事	業費(単位:千円)	補助率	31,990	32,500	19,400	15,100
	国庫支出金	1/2	15,994	16,250	9,700	7,500
財	県支出金		0	0	0	0
源	市債(合併特例債)	95%	15,300	14,900		
内	ふるさと応援寄附金					
訳	その他				0	
	一般財源		696	1,350	9,700	7,600

5. その他参考となる事項	
---------------	--

国庫補助事業 街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金)(1/2) 当初予算事業費 2 千円 今回補正事業費 委託料 本格消防消火栓設置 設計業務委託 1,349 千円 工事請負費 生蓮寺易操作性消火栓設置工事 1,999 千円 山下地区本格消防地下式消火栓設置工事 8,000 千円 既存防火水槽解体埋立て工事 3,650 千円 100 千円 工事費端数調整 (補正財源内訳) 国庫支出金 7,499 千円 一般財源 7,599 千円 補正後事業費 15,100 千円

4. 本牛度の事		丁昇額(
	内容	補助	単独
委託料	消火栓設置設計業務 2か所 1式	1	
	【今回追加補正】1,349,000円	1,349	0
工事請負費	消火栓設置、既存防火水槽解体埋立て工事	1	
	【今回追加補正】13,749,000円	13,649	100
	計	15,000	100

子質類(甾点,壬四)